

# 東京創元社

## 2022年 新刊ラインナップ

### 創元文芸文庫 Lineup for 2022

|   |   |         |
|---|---|---------|
| 1 | 『流浪の月』  | 創元文芸文庫  |
|   | 凧良 ゆう（なぎら・ゆう）   | 2022年2月 |
|   | 最初にお父さんがいなくなって、次にお母さんもいなくなって、わたしの幸福な日々は終わりを告げた。すこしずつ心が死んでいくわたしに居場所をくれたのが文だった。それがどのような結末を迎えるかも知らないままに——。だから十五年の時を経て彼と再会を果たし、わたしは再び願った。この願いを、きっと誰もが認めないだろう。周囲のひとびとの善意を打ち捨て、あるいは大切なひとさえも傷付けることになるかもしれない。それでも文、わたしはあなたのそばにいたい——。新しい人間関係への旅立ちを描き、実力派作家が遺憾なく本領を発揮した、息をのむ傑作小説。本屋大賞受賞作。             |         |
|   | 著者紹介：滋賀県生まれ。2007年、『花嫁はマリッジブルー』で本格的にデビュー。以降、各社でBL作品を精力的に刊行し、デビュー10周年を迎えた17年には非BL作品『神様のピオトープ』を発表、作風を広げた。巧みな人物造形や展開の妙、そして心の動きを描く丁寧な筆致が印象的な実力派である。19年に刊行した『流浪の月』が、多くの書店員の支持を集め、2020年本屋大賞を受賞。おもな著作に『未完成』『真夜中クロニクル』『365+1』『美しい彼』『ここで待ってる』『愛しのニコール』『薔薇色じゃない』『わたしの美しい庭』『滅びの前のシャングリラ』『すみれ荘ファミリア』がある。 |         |
| 2 | 『キネマトグラフィカ』   | 創元文芸文庫  |
|   | 古内 一絵（ふるうち・かずえ）   | 2022年3月 |
|   | あの頃思い描いていた自分に、今、なれているだろうか——。老舗映画会社に新卒入社した“平成元年組”6人の男女が、2018年、ある地方の映画館で再会する。フィルムはデジタルに、劇場はシネコンに。四半世紀の間に映画の形態が移り変わったように、彼らの人生もまた変化していった。〈マカン・マラン〉シリーズが累計15万部突破した著者が国内映画産業の転換期を活写した力作。   |         |
|   | 著者紹介：1966年、東京都生まれ。日本大学卒。映画会社勤務ののち、2010年、『銀色のマーメイド』で第5回ポプラ社小説大賞特別賞を受賞し、11年にデビュー。一作ごとに異なるテーマで話題作を発表し続け、〈マカン・マラン〉シリーズが累計15万部を超えるヒットとなる。他の著書に『風の向こうへ駆け抜けろ』『蒼のファンファーレ』『お誕生会クロニクル』『最高のアフタヌーンティーの作り方』『星影さやかに』などがある。  |         |
| 3 | 『うつくしが丘の不幸の家』   | 創元文芸文庫  |
|   | 町田 そのこ（まちだ・そのこ）   | 2022年4月 |
|   | わたしが不幸かどうかを決めるのは、家でも他人ではない——。《不幸の家》と呼ばれる家で、自らのしあわせについて考えることになった五つの家族の物語。2021年本屋大賞受賞『52ヘルツのクジラたち』の著者が描く、読むと幸せな気分になれる傑作。  |         |
|   | 著者紹介：1980年生まれ。2016年「カメルーンの青い魚」で第15回「女による女のためのR-18文字賞」大賞を受賞。2017年、同作を含む短編集『夜空に泳ぐチョコレートグラミー』でデビュー。2021年、『52ヘルツのクジラたち』で本屋大賞を受賞。他の著作に『ぎょらん』『コンビニ兄弟 テンダネス門司港こがね村店』『星を掬う』がある。   |         |

## 国内ミステリ Lineup for 2022 : Japanese Mysteries

|   |  |           |
|---|--|-----------|
| 4 | 『情無連盟の殺人』  | 四六判並製     |
|   | 浅ノ宮 遼（あさのみや・りょう）＋眞庵（しんあん）  | 2022 年初夏  |
|   | <p>徐々に感情が失われていく病に罹患した、麻酔医・伝城英治。同じ病状の8名で、千葉県の一軒家で共同生活を送る「情無連盟」から加入の誘いをうけたのだが、その晩に殺人事件に巻き込まれる。不可能状況下、あらゆる欲求が失われている「情無」たちが集う家で、なぜ事件は起こったのか？ 現役医師であり、ミステリーズ！新人賞受賞作家である著者が相棒と共に描く、本格犯人当て長編。</p> <p>著者紹介：1978年生まれ。宮城県仙台市出身。新潟大学医学部卒。2014年、「消えた脳病変」で第11回ミステリーズ！新人賞を受賞。16年、同作を連作化した『片翼の折鶴』を刊行し、話題となる。医師として活躍する傍ら、現在第一長編を執筆中である。</p>  |           |
| 5 | 『魔眼の匣の殺人』【文庫版】   | 創元推理文庫    |
|   | 今村 昌弘（いまむら・まさひろ）   | 2022 年夏   |
|   | <p>その日、“魔眼の匣”を九人が訪れた。人里離れた施設の孤独な主は、予言者と恐れられる老女だ。彼女は葉村譲と剣崎比留子をはじめとする来訪者に「あと二日のうちに、この地で四人死ぬ」と告げた。外界と唯一繋がる橋が燃え落ちた後、予言が成就するがごとく一人に死が訪れ、閉じ込められた葉村たちを混乱と恐怖が襲う。さらに、客の一人である女子高生も予知能力を持つと告白し――。残り48時間。予言に支配された匣のなかで、葉村と比留子は謎を解き明かせるか?! 剣崎比留子シリーズ第2弾。</p> <p>著者紹介：1985年長崎県生まれ。岡山大学卒。2017年『屍人荘の殺人』で第27回鮎川哲也賞を受賞しデビュー。同作は『このミステリーがすごい!』、〈週刊文春〉ミステリーベスト10、『本格ミステリ・ベスト10』で第1位を獲得し、第18回本格ミステリ大賞[小説部門]を受賞、第15回本屋大賞第3位に選出。映画化、コミカライズもされた。シリーズ第2弾『魔眼の匣の殺人』、シリーズ第3弾『兇人邸の殺人』も各ミステリランキングベスト3に連続ランクイン。2021年、テレビドラマ『ネメシス』に脚本協力として参加。いま最も注目される期待の俊英。</p> |           |
| 6 | 『探偵はさよならを言わない』   | 四六判上製     |
|   | 川澄 浩平（かわすみ・こうへい）   | 2022 年春～夏 |
|   | <p>中学二年生のわたし、海砂真史（うみすな・まふみ）が過ごす日常では、いつも不思議な謎と遭遇する。女子バスケ部長選挙での奇妙な出来事、紛失した義理チョコをめぐる騒動。それを鮮やかに解き明かしてくれるのは、学校に通わない幼馴染みの名探偵・鳥飼歩（とりかい・あゆむ）だ。ただある日、歩から「引っ越しで街を去る」と告げられ……。札幌を舞台に送る、青春ミステリシリーズ第3弾！</p> <p>著者紹介：1986年北海道生まれ。北海道在住。北海学園大学卒。漫画原作者として活躍したのち、2018年に第28回鮎川哲也賞を受賞、受賞作を改題した『探偵は教室にいない』でデビュー。ささやかな日常の謎を通して、少年少女の心の機微を瑞々しい筆致で描き、好評を博した。他の著作に『探偵は友人ではない』がある。</p>   |           |

|   |   |         |
|---|---|---------|
| 7 | 『 <b>オルゴールエンヌ</b> 』【文庫版】  | 創元推理文庫  |
|   | 北山 猛邦（きたやま・たけくに）  | 2022年4月 |
|   | <p>書物が駆逐される世界。旅を続ける英国人少年・クリスは、検閲官に追われるユユと名乗る少女と出会う。彼女と共に追い詰められたクリスの前に、彼を救うべく少年検閲官・エノが現れる。三人は、少女が追われる原因である宝石の形をした『ミステリ』の結晶〈小道具〉をいち早く回収すべく、オルゴール職人たちが住む海墟の洋館に向かったが……。そこで三人を待ち受けていたのは、職人たちを襲う連続不可能殺人だった！先に到着していたもう一人の少年検閲官カルテの支配下に置かれた場所で、三人は犯人を突き止めるべく、トリックの解明に挑む。著者渾身の力作、待望の文庫化！</p> |         |
|   | <p>著者紹介：1979年生まれ。2002年、『「クロック城」殺人事件』で第24回メフィスト賞を受賞してデビューする。機械的トリックの案出に強いこだわりを持つ一方、世紀末的かつ叙情的な独自の作品世界を構築し、次代を担う本格ミステリ作家として将来を囑望されている。他の著書に『少年検閲官』『踊るジョーカー』『密室から黒猫を取り出す方法』『天の川の舟乗り』『アルファベット荘事件』『「アリス・ミラー城」殺人事件』『人魚姫 探偵グリムの手稿』『冷たい転校生』『さかさま少女のためのピアノソナタ』などがある。</p>                      |         |

|   |  |           |
|---|--|-----------|
| 8 | 『 <b>く乙姫警部</b> 』シリーズ2』 ※仮題   | 四六判仮フランス装 |
|   | 倉知 淳（くらち・じゅん）  | 2022年夏～秋  |
|   | <p>あなたのことは、最初から疑ってました——週刊漫画誌の編集者、歌謡界の元・スター、人気タレント文化人……彼らは果たして、何を間違えてしまったのか。罪を犯した者たちの前に、死神めいた風貌の警部が立ち足はだかる！（刑事コロポ）の衣鉢を継ぐ、警察官探偵が活躍する倒叙ミステリ・シリーズ、待望の第2弾！</p>  |           |
|   | <p>著者紹介：1962年静岡県生まれ。日本大学芸術学部演劇学科卒業。93年、『競作 五十円玉二十枚の謎』への投稿を経て翌94年、『日曜の夜は出たくない』で本格的な作家デビューを飾る。以後、ユーモラスで親しみやすい作風ながら、ミステリとしての完成度にも妥協しない、高いクオリティの作品群を書き続けている。2001年、『壺中の天国』で第1回本格ミステリ大賞を受賞。他の著作に『過ぎ行く風はみどり色』『占い師はお昼寝中』『星降り山荘の殺人』『幻獣遁走曲』『ほうかご探偵隊』『なぎなた』『こめぐら』などがある。</p> |           |

|   |  |         |
|---|--|---------|
| 9 | 『 <b>くお薦さんの神楽坂日記</b> 』シリーズ4』 ※仮題   | 四六判並製   |
|   | 西條 奈加（さいじょう・なか）  | 2022年5月 |
|   | <p>商店街で頻発する万引き、消えた石膏像の腕、置き去りにされた兄妹——。秋が訪れた神楽坂で起こる事件の数々を、お薦さんが鮮やかに解決する。粋と人情とおいしい手料理が魅力の〈お薦さんの神楽坂日記〉シリーズ、待望の第4弾！</p>   |         |
|   | <p>著者紹介：1964年、北海道生まれ。2005年、『金春屋ゴメス』で第17回日本ファンタジーノベル大賞を受賞してデビュー。2012年『涅槃の雪』で第18回中山義秀文学賞を受賞。2015年『まるまるの毬』で第36回「吉川英治文学新人賞」を受賞。2020年『心淋し川』で第164回直木三十五賞を受賞。他の著書に『鳥金』『善人長屋』『四色の藍』『朱龍哭く 弁天観音よらず始末記』『千年鬼』『婿どの相逢席』など。</p> |         |

|    |   |          |
|----|---|----------|
| 10 | 『 <b>塔の国</b> 』 ※仮題  | 四六判上製    |
|    | 真藤 順丈（しんどう・じゅんじょう）  | 2022年夏～秋 |
|    | <p>1940年、ロサンゼルスに暮らす日系二世のユラは、ある日息子を誘拐されてしまう。更に、1942年に真珠湾攻撃が発生。国内の日系人は10ヵ所ある強制収容所に入れられることに。しかしユラはチャンスと捉え脱走。ピンカートン探偵社の探偵・バンホーを相棒に、各収容所を転々として我が子を探す母親の旅が始まった！</p>   |          |
|    | <p>著者紹介：1977年東京都生まれ。2008年『地凶男』で第3回ダ・ヴィンチ文学賞大賞を受賞してデビュー。同年『庵堂三兄弟の聖職』で第15回日本ホラー小説大賞を、『東京ヴァンパイア・ファイナンス』で第15回電撃小説大賞銀賞を、『RANK』で第3回ポプラ社小説大賞特別賞を受賞。18年に刊行された『宝島』が第9回山田風太郎賞、第160回直木賞、第5回沖縄書店大賞を受賞。主な著書に『畔と銃』『墓頭』『しるしなきもの』『黄昏旅団』『夜の淵をひと廻り』『われらの世紀 真藤順丈作品集』『ものがたりの賊（やから）』がある。</p> |          |

|    |   |        |
|----|---|--------|
| 11 | 『馬鹿みたいな話！ 昭和36年のミステリ』   | 四六判上製  |
|    | 辻 真先（つじ・まさき）  | 2022年春 |
|    | 2020年末ミステリランキング3冠の『たかが殺人じゃないか 昭和24年の推理小説』に続く、〈昭和ミステリ〉シリーズ第三弾。テレビ草創期の昭和36年、生放送中のテレビスタジオでの不可解な殺人事件を描く、円熟の本格ミステリ長編。ミステリ作家デビュー50周年の今年いよいよ刊行。  |        |
|    | 著者紹介：1932年愛知県生まれ。名古屋大学卒。NHK勤務後、『鉄腕アトム』『サザエさん』『デビルマン』『Dr.スランプ アラレちゃん』など、アニメや特撮の脚本家として幅広く活躍。72年『仮題・中学殺人事件』でミステリ作家としてデビュー。現在でもTVアニメ『名探偵コナン』の脚本を手掛けるほか、大学教授として後進の指導にあっている。82年『アリスの国の殺人』が第35回日本推理作家協会賞を、2009年に牧薩次名義で刊行した『完全恋愛』が第9回本格ミステリ大賞を受賞。19年に第23回日本ミステリー文学大賞を受賞。20年刊行の『たかが殺人じゃないか 昭和24年の推理小説』は、年末ミステリランキング3冠となるなど、第一線で活躍を続けている。 |        |

|    |   |         |
|----|---|---------|
| 12 | 『決断の刻』【文庫版】   | 創元推理文庫  |
|    | 堂場 瞬一（どうば・しゅんいち）  | 2022年5月 |
|    | あるコンサルティング会社の社長今川と警部、原は、かつてネタ元と刑事として、ある事件を解決し、深い信頼関係を築いていた。その社の贈賄事件を内偵していた刑事の失踪、同社社員の死と女性社員の失踪は何を意味するのか？ 堂場作品の粋がこの一冊に！  |         |
|    | 著者紹介：1963年茨城県生まれ。青山学院大学国際政治経済学部卒業。新聞社勤務の傍ら、2000年に『8年』で第13回小説すばる新人賞を受賞してデビュー。13年から創作活動に専念。警察小説、スポーツ小説などで幅広い読者を獲得している。また海外ミステリ・ファンとしてもその名を轟かせている。著書に「刑事・鳴沢了」シリーズ、「警視庁失踪課・高城賢吾」シリーズ、「アナザーフェイス」シリーズ、「捜査一課・澤村慶司」シリーズ等のシリーズと、『Killers』、『沈黙の終わり』等多数。 |         |

|    |  |                            |
|----|--|----------------------------|
| 13 | 『破蛹（はよう）の都 平家物語推理抄』 ※仮題  | 四六判仮フランス装<br>(ミステリ・フロンティア) |
|    | 羽生 飛鳥（はにゅう・あすか）  | 2022年春～夏                   |
|    | 1180年。平安京から遷都した福原の平清盛邸で、怪事件が続発する。消えた平家の守護刀、物の怪騒ぎ、密室状態の祈禱所での殺人未遂。清盛の異母弟にして彼に抑圧されている平頼盛は、清盛の命により事件解決に乗り出すが、容疑者は清盛と、彼の後継者である三人の息子たちしかおらず……。第15回ミステリーズ！新人賞作家が贈る、話題作『蝶として死す』に続く、渾身の長編歴史ミステリ！  |                            |
|    | 著者紹介：1982年神奈川県生まれ。上智大学卒。2018年「屍実盛（かばねさねもり）」で第15回ミステリーズ！新人賞を受賞。『平家物語』や謡曲『実盛』にも取り上げられている斎藤別当実盛の最期を題材にした同作は、特異な状況下での「被害者当て」を描いた本格ミステリとして高く評価された。2021年同作を収録した本連作短編集でデビュー。同年、本書は第4回細谷正充賞を受賞した。歴史小説と本格ミステリの巧みな融合を追求する、期待の新鋭。また、児童文学作家としても活躍している（斎藤飛鳥名義）。 |                            |

|    |   |         |
|----|---|---------|
| 14 | 『うしろから歩いてくる微笑』【文庫版】   | 創元推理文庫  |
|    | 樋口 有介（ひぐち・ゆうすけ）   | 2022年3月 |
|    | 追悼・樋口有介。永遠の38歳、柚木草平の事件簿最終刊。鎌倉在住の薬膳研究家の依頼で、女子高生失踪事件を調べ始めた柚木。鎌倉の地で、さらに殺人事件に巻き込まれて……。娘の加奈子や、月刊EYESの小高直海らおなじみのキャラクターに加え、神奈川県警の女性刑事など今回の事件も美女づくし。  |         |
|    | 著者紹介：1950年群馬県生まれ。國學院大學中退。88年、『ぼくと、ぼくらの夏』でサントリーミステリー大賞読者賞を受賞しデビュー。『風少女』が第103回直木賞候補となる。『彼女はたぶん魔法を使う』に始まる〈柚木草平シリーズ〉をはじめ、青春味溢れる作品で人気を博す。著作は他に、『林檎の木の間』『雨の匂い』『魔女』『ピース』『捨て猫という名前の猫』『少女の時間』などがある。2021年没。 |         |

|   |         |
|---|---------|
| 『にごりの月に誘われ』   | 四六判並製   |
| 本城 雅人（ほんじょう・まさと）  | 2022年4月 |
| <p>余命半年だというインターネット企業大手の会長から、自叙伝の代筆を直接依頼された上阪傑。会長宅に毎日通いながらインタビューを試みるも、これまで聞いたことのない衝撃的なエピソードばかりが続く……。自叙伝を出版する意味、そしてそこに隠された真の目的とは？ 吉川英治文学新人賞作家が描く新境地。</p>  |         |
| <p>著者紹介：1965年神奈川県生まれ。明治学院大学卒。スポーツ新聞記者、競馬雑誌デスクを経て、2009年『ノーバディノウズ』でデビュー。翌年に同作で第1回サムライジャパン野球文学賞を受賞。2017年、『ミッドナイト・ジャーナル』で第38回吉川英治文学新人賞を受賞。記者時代の経験を活かした新聞記者小説をはじめ、野球や競馬、サッカーなどを題材としたスポーツ小説など、様々なジャンルの作品で人気を博している。主な著作に『スカウト・デイズ』『シューメーカーの足音』『サイレントステップ』『誉れ高き勇敢なブルーよ』『黙約のメス』『四十過ぎたら出世が仕事』などがある。</p> |         |

## 海外ミステリ Lineup for 2022 : Foreign Mysteries

- |    |   |          |         |
|----|---|----------|---------|
| 16 | 『 <b>ビール職人の秘密と推理</b> 』<br><b>Beyond a Reasonable Stout</b>  | 創元推理文庫   |         |
|    | エリー・アレグザンダー   | 越智 睦 訳   | 2022年3月 |
|    | <p>冬のイルミネーションイベントを控えた、ビールで有名なアメリカの小さな町レブンワース。ビール職人のわたしは、ブルワリー〈ニトロ〉の新作ビールを醸造しながら、宿泊施設オープンに向けた改装に精を出していた。そんな中、市議会議員選挙の候補者が殺されているのが見つかる。彼は、ビール産業の盛んなこのレブンワースで、こともあろうに禁酒政策を推し進めようとしていた。ということは、容疑者には事欠かないわけで……。おいしいビールと料理が満載のビール・ミステリ！</p> <p>著者紹介：アメリカ太平洋岸北西部の生まれ。『ビール職人の醸造と推理』のほかに、〈バイクショップ・ミステリ・シリーズ〉や、ケイト・ダイアー・シーリー名義で発表した〈パシフィック・ノースウェスト・ミステリ・シリーズ〉ほかの作品がある。</p>  |          |         |
| 17 | 『 <b>厳寒の町</b> 』【文庫版】<br><b>Vetrarborgin</b>   | 創元推理文庫   |         |
|    | アーナルデュル・インドリダソン   | 柳沢 由実子 訳 | 発売中     |
|    | <p>男の子の年齢は十歳前後。地面にうつ伏せになり、体の下の血は凍りはじめていた。アイスランド人の父とタイ人の母の間に生まれた男の子は、両親の離婚後母親と兄と一緒にレイキャヴィクのこの界隈に越してきた。人種差別からくる殺人が疑われ、エーレンデュルら捜査陣は、男の子が住んでいたアパートや通っていた学校を中心に捜査を始める。世界のミステリ界をリードする著者が現代社会の問題にメスを入れた、シリーズ第5弾文庫化。</p> <p>著者紹介：1961年アイスランドの首都レイキャヴィク生まれ。父親は高名な作家インドリディ・G・トーステンソン。アイスランド大学で歴史学と映画を専攻し、新聞社に就職。その後フリーの映画評論家になる。1997年にレイキャヴィク警察の犯罪捜査官エーレンデュルを主人公とするシリーズ第一作Synir duftsins で作家デビュー。3作目にあたる『湿地』と次の『緑衣の女』で2年連続してガラスの鍵賞を受賞。『緑衣の女』では、英国のCWAゴールドダガー賞も受賞している。</p> |          |         |
| 18 | 『 <b>凍てつく夜</b> 』 ※仮題<br><b>Harðskafi</b>  | 四六判並製    |         |
|    | アーナルデュル・インドリダソン   | 柳沢 由実子 訳 | 2022年5月 |
|    | <p>彼女は湖のほとりのサマーハウスで首をつっているのを発見された。数年前に親密だった母親を病で失い、以来精神的に不安定になっていたという。死後の世界に興味をもち、降霊術師のもとにも出入りしていた。自殺で間違いない。だが、本当に？ レイキャヴィクの捜査官エーレンデュルは、わずかな疑問を胸に孤独な捜査を進める。暴かれる悲痛な過去、明らかになる驚愕の真実に、心の奥底までゆさぶられる好評シリーズ第6弾。</p>  |          |         |
| 19 | <b>The Bodies in the Library</b> ※原題  | 創元推理文庫   |         |
|    | マーティー・ウィングート  | 藤井 美佐子 訳 | 2022年内  |
|    | <p>わたしはイングランドの美しい古都バースにある、初版本協会の新米キュレーター。この協会は資産家だった故レディ・ジョージアナ・ファウリングが設立したものだ。レディ・ファウリングは、アガサ・クリスティをはじめ、ミステリ黄金期の女流作家の初版本の収集家だった。そしてその膨大なコレクションは、彼女の自宅だったミドルバンク館の図書室に保管されている。キュレーターとして認められるため、わたしは協会の知名度を向上させ、会員を増やす企画をあたためている。そんな折、図書室で死体が発見されて……。楽しいコージー・ミステリ第1弾！</p> <p>著者紹介：夫と三匹の猫とともにアメリカ、シアトルに在住する作家。小説家に転身する前はガーデニングのハウツーものを手がけており、3冊の本を出版しているほか、雑誌や新聞に園芸関係の記事を多数発表している。他の著作に、テキサス出身の園芸家を主人公にしたシリーズなどがある。</p>  |          |         |

|   |                             |          |
|---|-----------------------------|----------|
| 20  | <b>The Wyndham Case ※原題</b> | 創元推理文庫   |
|   | ジル・ペイトン・ウォルシュ               | 猪俣 美江子 訳 |
|   |                             | 2022 年内  |
| <p>静かな2月半ばの朝。ケンブリッジ大学の古色蒼然たる貧乏学寮セント・アガサ・カレッジのナース、イモーゼン・クワイのもとに、学寮長が駆け込んできた。キャンパス内の〈ウィンダム図書館〉で、学生の死体が発見されたというのだ。学生は何らかの理由で倒れた拍子にテーブルの角に頭をぶつけたと見られ、頭の周囲に大きな血だまりができていた。遺体のそばには、古書が一冊。これは単なる事故なのか、それとも……？ 英国推理作家協会ゴールド・ダガー候補作家にして、ピーター・ウィムジイ卿シリーズの続編を託されたほどの実力派作家による、英国ミステリの傑作！</p> |                             |          |
| <p>著者紹介：1937年、ロンドンに生まれる。オックスフォード大学セント・アンズ・カレッジを卒業後、教員生活を送ったのち、作家として歴史小説や児童文学、ミステリを発表。ドロシー・L・セイヤーズのピーター・ウィムジイ卿シリーズの未完作品 Thrones, Dominations を完結させたほか、公式の続編を手掛ける Knowledge of Angels でブッカー賞候補、本書に続くシリーズ第2弾 A Piece of Justice で英国推理作家協会賞候補となる。2020年逝去。</p>                       |                             |          |

|  |                      |            |
|--|----------------------|------------|
| 21   | <b>『過ちの雨が止む』 ※仮題</b> | 創元推理文庫     |
|  | アレン・エスケンス            | 務台 夏子 訳    |
|  |                      | 2022 年 4 月 |
| <p>大学を卒業しミネアポリスのAP通信に入社したジョーは、ある日、田舎町でジョセフ・タルバートという男の不審死を知らされる。父親を知らずに育った彼は、興味を抱いてその町へ向かう。そこで判明したのは、男が父親である可能性が高いこと、悪行によりさまざまな人の恨みを買っていたことだった。ジョーは真相解明に挑むが……。事件を通して家族の秘密、そして人生と向き合う青年を情感豊かに描いた、心ゆさぶる青春ミステリ。バリー賞など3冠に輝いた『償いの雪が降る』待望の続編！</p> |                      |            |
| <p>著者紹介：アメリカ、ミズーリ州出身。25年間、刑事専門の弁護士として働いてきたが現在は引退している。デビュー作である『償いの雪が降る』は、バリー賞ペーパーバック部門最優秀賞など三冠を獲得し、エドガー賞、アンソニー賞、国際スリラー作家協会賞の各デビュー作部門でも最終候補となった。その他の著作に『たとえ天が墜ちようとも』がある。</p>   |                      |            |

|   |   |           |
|---|---|-----------|
| 22  | <b>『紅はこべ』【新訳版】<br/>The Scaret Pimpernel</b> | 創元推理文庫    |
|   | バロネス・オルツイ                                   | 坏 香織 訳    |
|   |   | 2022 年秋～冬 |
| <p>全ヨーロッパを動乱に巻き込んだフランス革命のただなか、共和国政府に捕らえられた貴族を救うため、突如出現した秘密結社〈紅はこべ〉とはなんだろう？ シャーロック・ホームズのライヴァル探偵のうちでも異色の存在、隅の老人を創造したオルツイ男爵夫人が、英仏両都を舞台に、江湖の読書子をうならせ、永遠のベストセラーとなった恋と友情と義侠の綾なす絢爛たる歴史ロマン。</p> |   |           |
| <p>著者紹介：1865年、ハンガリー生まれの英国の作家、劇作家。本名エムスカ・マグダレーナ・ロザリア・マリア・ヨゼファ・バルバーラ・オルツイ・バーストウ。代表作にフランス革命を舞台にした歴史ロマン『紅はこべ』や、雑誌『ロイヤル・マガジン』に連載したミステリ短編を集めた『隅の老人の事件簿』などがある。1942年没。</p>                      |   |           |

|   |   |         |
|---|---|---------|
| 23  | 『 <b>Yの悲劇</b> 』【新訳版】<br><b>The Tragedy of Y</b> | 創元推理文庫  |
| エラリー・クイーン   | 中村 有希 訳   | 2022 年夏 |
| <p>ニューヨーク港に浮かんだ死体は、行方不明が報じられた大富豪ハッター家の当主ヨークのものだった。その後、残された一族のあいだで、恐るべき惨劇が起きる。ハッター家を覆う暗雲の源を突き止めるべく、名優にして名探偵のドルリー・レーンが立ち上がるが……。巨匠クイーンがバーナビー・ロス名義で発表した四部作の中でも一二を争う傑作であり、オールタイムベスト常連の古典名作が21世紀によみがえる！</p>   |   |         |
| <p>著者紹介：アメリカの作家。フレデリック・ダネイ（1905 - 82）とマンフレッド・B・リー（1905 - 71）の、いとこ同士による合同ペンネーム。1929年、出版社のコンテストに投じた長編『ローマ帽子の謎』でデビュー。同書を第一作とする〈国名シリーズ〉と、当初はバーナビー・ロス名義で発表されたドルリー・レーン四部作でミステリ界に不動の地位を得る。その後も作者と同名の名探偵が活躍する傑作をいくつも著し、ダネイは雑誌〈エラリー・クイーンズ・ミステリ・マガジン〉で多数の作家を世に送り出したほか、ミステリ研究者、アンソロジストとしても功績を残した。「アメリカの推理小説そのもの」と評された、巨匠中の巨匠である。</p> |   |         |

|   |   |           |
|---|---|-----------|
| 24  | 『 <b>ミス・マープル最初の事件</b> 』【新訳版】<br><b>The Murder at the Vicarage</b> | 創元推理文庫    |
| アガサ・クリスティ   | 山田 順子 訳   | 2022 年夏～秋 |
| <p>平和で牧歌的なロンドン近郊の村セント・メアリ・ミードで、思いもよらぬ凶悪な事件が起こった。牧師館を舞台に、地元の名士である治安判事が殺されたのだ。初めは単純に思われた事件の捜査は難航し、疑惑の霧が村中に立ちこめるようになったとき、その鋭い観察眼と明晰な頭脳で事件の真相に迫ったのは、意外にもおしゃべりでせんさく好きな老嬢、ミス・マープルであった。</p>  |   |           |
| <p>著者紹介：イギリスの作家。1890年生まれ。1920年に『スタイルズの怪事件』でデビューして以来、長編と短編集あわせて100冊を超す作品を発表した。巧妙な着想と錯綜したトリックの加わった『アクロイド殺害事件』や『オリエント急行の殺人』『ABC殺人事件』といった多くの作品が古典的名作としての評価を確立している。71年には長年の功績により、大英帝国勲章（DBE）を授与された。彼女の創造した名探偵には、エルキュール・ポワロや、ミス・マープルなどがある。76年没。</p> |   |           |

|  |   |         |
|--|---|---------|
| 25   | <b>The Postscript Murders</b> ※ <b>原題</b> | 創元推理文庫  |
| エリー・グリフィス  | 上條 ひろみ 訳                                  | 2022 年夏 |
| <p>ショアハム・バイ・シーの高齢者向け共同住宅に住む90歳のペギーが亡くなった。彼女は推理小説の生き字引のような人物で、数多くのミステリの謝辞にペギーへの感謝が記されている。死因は心臓発作かと思われたが、ペギーの介護士ナタルカはその死に不審なものを感じ、刑事ハービンダーに相談しつつ、友人たち二人と真相を調べ始める。だがナタルカたちがペギーのフラットにいる間に、覆面の人物が銃を手にして入ってきて、ある推理小説を奪って消えた。それはペギーが一番気に入っていた黄金時代のミステリ作家の本だった。謎の人物はなぜそんな不可解な行動を？ ——〈週刊文春ミステリーベスト10〉第3位に輝いた『見知らぬ人』の著者が贈る、本や出版業界をテーマにした傑作謎解きミステリ！</p> |   |         |
| <p>著者紹介：イギリスの作家。〈サンデー・タイムズ〉紙ベストセラーリストにランクインした法医考古学者ルース・ギャロウェイ・シリーズと、エドガー・スティーヴンス警部と戦友マックス・メフィストのミステリ・シリーズで名声を得る。アメリカ探偵作家クラブ（MWA）のメアリー・ヒギンズ・クラーク賞と英国推理作家協会（CWA）の図書館賞を受賞。『見知らぬ人』で2020年のMWA賞最優秀長編賞を受賞した。</p>  |   |         |



26

|   |        |         |
|---|--------|---------|
| <b>Finlay Donovan Is Killing It</b> ※原題   |        | 創元推理文庫  |
| エル・コシマノ   | 辻 早苗 訳 | 2022 年秋 |
| <p>フィンレイ・ドノヴァン、31歳、売れない口マンティック・サスペンス作家。ある日、レストランで打ち合わせを終えたところ、テーブルにメモが残されていた。そこにはある男の名前、住所、電話番号、それに現金5万ドルと書かれていた。番号に電話をかけてみると、出た女性から夫の殺人を依頼されてしまう。その女性はなんと、打ち合わせで話していた殺人のプロットや原稿料の金額、そして慌てて家を出た際に、娘のささいな怪我で血が付いたタオルと包丁を突っ込んだバッグを見て、フィンレイを殺し屋と勘違いしたらしい！ まさかの事態だが、その後、フィンレイはなんと本物の死体に遭遇してしまい……。予想不可能な展開で一気に読み間違いなし！ 究極のサスペンス。</p> |        |         |
| <p>著者紹介：アメリカ出身。YAスリラーのデビュー作Nearly Goneは2015年のエドガー賞の最終候補作になり、国際スリラー作家協会のベストYA部門賞を受賞している。Holding Smokeはブラム・ストーカー賞と国際スリラー作家協会賞の最終候補作となった。本作は初の大人向け作品。</p>  |        |         |

27

|  |         |         |
|--|---------|---------|
| <b>Good Girl, Bad Blood</b> ※原題  |         | 創元推理文庫  |
| ホリー・ジャクソン  | 服部 京子 訳 | 2022 年夏 |
| <p>アンディの事件を解決し時の人となってしまった高校生のピップは、24歳の兄ジェイミーの行方を調べて欲しいという友人コーナーからの依頼を渋々引き受けた。ジェイミーは失踪する前の2週間ほど気分の落ち込みが激しく、常にスマートフォンで誰かとやりとりしていたようだが、警察は事件性がないと判断した。ピップはFacebookやマッチングアプリなどを探ってジェイミーを捜索すると同時に、広く手がかりを求めため、調査の進捗をポッドキャストで配信する。しかし単純かと思われた失踪事件は、想像もできない事態へと発展し……。ピップの類まれな推理力と行動力は、とんでもない真相を明らかにする！ 年末ミステリランキングで話題沸騰の『自由研究には向かない殺人』続編！ この衝撃の結末を、決して読み逃さないでください!!</p> |         |         |
| <p>著者紹介：イギリス、バッキンガムシャー出身の作家。ノッティンガム大学で言語学と文芸創作を学び、英語の文学修士号を取得。2019年に刊行したデビュー作の『自由研究には向かない殺人』は英米でベストセラーとなり、2020年のブリティッシュ・ブックアワードのチルドレンズ・ブック・オブ・ザ・イヤーを受賞したほか、カーネギー賞の候補作となった。</p>   |         |         |

28

|  |         |         |
|--|---------|---------|
| <b>The London Eye Mystery</b> ※原題  |         | 四六判     |
| シヴォーン・ダウド  | 越前 敏弥 訳 | 2022 年夏 |
| <p>12歳のテッドは、いとこのサリムの希望で大きな観覧車ロンドン・アイに乗りこいでかけた。テッドと姉、サリムでチケット購入の列に並んでいたところ、見知らぬ男が自分のチケットを一枚譲ってくれると言う。サリムは大喜びで、たくさんの乗客と一緒に大きな観覧車のカプセルに乗りこんでいった。テッドと姉は観覧車が一周するのを見守っていたが、30分後、カプセルからサリムは降りてこなかった。閉ざされた場所からどうやって、なぜ消えてしまったのか？ 知識欲旺盛で大人顔負けの論理を駆使し、「ほかの人とはちがう仕組みでうごく」頭脳を持つ少年テッドが謎に挑む！ 『怪物はささやく』原案者で、カーネギー賞受賞作家が贈る清々しい謎解き長編ミステリ。</p> |         |         |
| <p>著者紹介：1960年、ロンドン生まれ。オックスフォード大学卒業後、国際ペンクラブに所属し、作家たちの人権擁護活動に長く携わった。作家としてのデビューは2006年に発表したA Swift Pure Cry であるが、2作目である本作の発表から2か月後の2007年8月、乳癌のため47歳で逝去。死後に『ボグ・チャイルド』が発表され、2009年のカーネギー賞を受賞している。遺された構想をもとにパトリック・ネスが執筆した『怪物はささやく』は、2012年にカーネギー賞を受賞した。</p>  |         |         |

29

|  |         |         |
|--|---------|---------|
| <b>The Paris Library</b> ※ <b>原題</b>   |         | 四六判     |
| ジャネット・スケスリン・チャールズ  | 高山 祥子 訳 | 2022年4月 |
| <p>1939年、パリ。20歳のオディールは、ヨーロッパ最大の英語書籍貸出図書館であるアメリカ図書館の司書の就職試験を受けて採用された。文学を愛する彼女は仕事にやりがいを感じ、図書館利用者との絆を深めるが、ついにドイツとの戦争が始まった。オディールたちは戦地や病院の兵士に本を送るプロジェクトに取り組み始める。だがドイツ軍がパリ市内に入り、ユダヤ人の利用者に危機が……。戦中のパリと1980年代のアメリカを舞台に、オディールという女性の波乱万丈の人生と、ナチ占領下のパリの図書館員たちの勇気ある活動を描く感動作！</p> |         |         |
| <p>著者紹介：米モンタナ州とパリで活動する女性作家。デビュー小説Moonlight in Odessaはthe Melissa Nathan awardとthe Complètement Livre prizeを受賞し、10か国語に翻訳されている。2010年から2012年まで、パリのアメリカ図書館で働き、その経験を活かして本書を執筆した。</p>  |         |         |

30

|  |         |         |
|--|---------|---------|
| <b>『長い別れ』</b><br><b>The Long Goodbye</b>   |         | 創元推理文庫  |
| レイモンド・チャンドラー   | 田口 俊樹 訳 | 2022年4月 |
| <p>『大いなる眠り』、『さらば愛しき女よ』と並ぶチャンドラーの代表作を名手渾身の訳業で贈る決定版。私立探偵フィリップ・マーロウは、バーで顔の片側に戦争で受けた凄惨な傷跡のあるレノックスという男と出会い心惹かれる。大金持ちの妻のいるその男は、妻殺しの容疑者となり、マーロウも共犯者として取り調べを受ける。しかし、メキシコで男が自殺した知らせを受け事件は終わりを告げる。その後、ある失踪した作家の搜索を出版社から依頼されたマーロウは、その作家がレノックスの隣人であったことを知る。さらに作家の妻からも夫捜しを頼まれ……。複雑に絡み合う人間関係、浮かび上がる真実、稀代の名手によるチャンドラーにご期待下さい。</p> |         |         |
| <p>著者紹介：1888～1959。両親の離婚後、母とともにイギリスに渡る。イギリスでエッセーや詩を発表していたが、アメリカに戻り、第一次世界大戦後に小説を書き始める。〈ブラック・マスク〉誌を皮切りに作品を執筆。1939年に長編第1作『大いなる眠り』を発表、私立探偵フィリップ・マーロウを登場させ、新感覚の語法、非情な人間描写で、ダシール・ハメットに続き、ハードボイルド派を確立した。</p>   |         |         |

31

|  |              |         |
|--|--------------|---------|
| <b>『ゴールドマン家の悲劇』 上下</b><br><b>Le Livre des Baltimore</b>  |              | 創元推理文庫  |
| ジョエル・ディケール   | 橋 明美、荷見 明子 訳 | 2022年3月 |
| <p>処女作『ハリー・クバート事件』で大ベストセラー作家となったマーカス・ゴールドマン。生家モントクレアのゴールドマン家は質素だったので、彼は弁護士伯父と医師伯母夫妻の裕福な家であるボルティモアのゴールドマン家に憧れていた。しかし、晩年の伯父は一人貧しく暮らしていた。それは、ある悲劇が同家を襲ったからだ。あの悲劇を食い止めることはできなかったのか？ マーカスの少年時代、作家デビュー前とそれ以後の時代を行き来し、ゴールドマン家の悲劇と崩壊の謎を解き明かしながら、マーカスの成長を描く、『ハリー・クバート事件』の著者によるビルドゥングス・ミステリ。</p> |              |         |
| <p>著者紹介：1985年ジュネーブに生まれる。ジュネーブ大学で法学を学ぶ。2005年に書いた短編でローザンヌの若い作家のための国際文学賞を受賞。2010年には第一長編で、ジュネーブ作家協会賞を受賞。『ハリー・クバート事件』は2012年にアカデミー・フランセーズ賞、高校生が選ぶゴンクール賞を受賞。</p>  |              |         |

|   |                           |           |
|---|---------------------------|-----------|
| 32  | <b>Gelo (P分署捜査班3) ※原題</b> | 創元推理文庫    |
|   | マウリツィオ・デ・ジョバンニ            | 直良 和美 訳   |
|   |                           | 2022 年秋～冬 |
| <p>ピッツォファルコーネ署管内の小さなアパートで酸鼻な二重殺人が発生したとの報を受け、ロヤコーノ警部とディ・ナルド巡査長補が急行する。被害者は部屋に住む若い研究者とその妹。穏やかに、つましく暮らしていた兄妹はなぜ殺されたのか？ いっぽう、ドラマかぶれの気取り屋アラゴナー等巡査は12歳の少女が受けたセクシャル・ハラスメントという、明らかに不向きな事件を担当することになるが……。ナポリの街で同時進行する事件をP分署の型破りな刑事たちが追う、『集結』『誘拐』に続く〈21世紀の87分署〉シリーズ第三弾！</p> |                           |           |
| <p>著者紹介：1958年ナポリ生まれ。銀行に勤めるかたわら応募した文学コンテストで高く評価され、2006年に長編Le lacrime del pagliaccioで本格的に作家デビュー。同書を第一作とする〈リチャルディ警視〉シリーズと、ロヤコーノ警部を主人公に13年刊の『P分署捜査班 集結』から開始した〈P分署捜査班〉シリーズのふたつで知られる。〈P分署捜査班〉は17年より本国イタリアで連続テレビドラマの放送が始まった。</p>                                       |                           |           |

|   |                                     |           |
|---|-------------------------------------|-----------|
| 33  | <b>Gator Bait (ワニの町へ来たスパイ5) ※原題</b> | 創元推理文庫    |
|   | ジャナ・デリオン                            | 島村 浩子 訳   |
|   |                                     | 2022 年秋～冬 |
| <p>友人アリーの家の放火事件を見事解決、保安官助手カーターとの初デートも大成功。いい気分のフォーチュンを、過去最大の衝撃が襲う。カーターが何者かに襲われ、命をねらわれたのだ。いつもはなしくずしに暴走の片棒をかつぐフォーチュンだが、今回はかりは誰の制止も聞き入れない！ わけあって人口数百人の町で身分を偽り暮らすCIAスパイ・フォーチュンとその友人兼トラブルメーカーのおばあちゃんコンビが無双の活躍を繰り広げる痛快ミステリ〈ワニ町〉シリーズ第5弾、熱烈な読者の声にこたえて登場！</p> |                                     |           |
| <p>著者紹介：ルイジアナ州カルカシュ郡カーライスに生まれる。2006年に長編Rumble on the Bayouで作家デビュー。現在はテキサス州ダラスに住み、ルイジアナを主な舞台としたミステリのシリーズを複数執筆している。</p>   |                                     |           |

|  |                               |           |
|--|-------------------------------|-----------|
| 34   | <b>Le Detroit du loup ※原題</b> | 創元推理文庫    |
|  | オリヴィエ・トリュック                   | 久山 葉子 訳   |
|  |                               | 2022 年秋～冬 |
| <p>北極圏に春がやってきた。最北の小さな町は、石油バブルに湧いていた。そんななか夏の草場に向かって海を泳いで渡るトナカイの群。その若い放牧者が悲劇的な事故死を遂げる。そして地元の有力者が古代の聖なる石の元で死んでいるのが発見される。それは連続殺人事件の始まりだった。北欧三カ国にまたがり活動する特殊警察のコンビ、クレメットとニーナが事件の謎を追う。『影のない四十日間』に続くシリーズ第2弾。</p>                                     |                               |           |
| <p>著者紹介：1964年フランス生まれのジャーナリスト。1994年からスウェーデンの首都ストックホルム在住で、フランスの新聞社『ル・モンド』の北欧特派員を20年以上つとめる。ドキュメンタリー映画やテレビ番組製作にも携わり、ノンフィクションも執筆したのち、本シリーズで小説デビュー、母国フランスで熱狂的に迎えられ、シリーズ第1作『影のない四十日間』はミステリ批評家賞、813協会賞などを受賞したほか、英訳版はCWAインターナショナル・ダガーの最終候補作にもなった。</p> |                               |           |

|  |  |          |
|--|--|----------|
| 35   | <b>『修道女フィデルマの采配』<br/>The Heir-Apparent and Other Stories from Whispers of the Dead</b> | 創元推理文庫   |
|  | ピーター・トレメイン   | 田村 美佐子 訳 |
|  |  | 発売中      |
| <p>法廷弁護士にして裁判官の資格を持つ美貌の修道女フィデルマが、アイルランドの各地を巡り難事件を解決する。占星術で自らが占ったとおりに死んだ修道士、犯人と名指しされたのは修道院長だった。「みずからの殺害を予言した占星術師」。小王国の族長の跡継ぎを選定するための会合で、有力な候補者が死亡、どうやら毒を盛られたらしい。果たして犯人の思惑は？「法定推定相続人」等全5編を収録。待望の日本オリジナル短編集第5弾。</p> |  |          |
| <p>著者紹介：1943年英国生まれ。本名はピーター・ベレスフォード・エリス。ケルト関係の学術書を数多く著し、学会の会長や理事もつとめる著名なケルト学者でもある。また小説家としても精力的に活動しており、ピーター・トレメイン名義の代表作《修道女フィデルマ・シリーズ》をはじめ、ホラーやファンタジー、ピーター・マクアラン名義のスリラーなどを刊行している。</p>                              |  |          |

|   |                            |         |
|---|----------------------------|---------|
| 36  | 『嘘の木』【文庫版】<br>The Lie Tree | 創元推理文庫  |
| フランシス・ハーディング  | 児玉 敦子 訳                    | 2022年5月 |
| <p>高名な博物学者による世紀の発見、翼ある人類の化石。それが捏造だという噂が流れ、一家は世間の目を逃れるようにある島に移住する。だが噂は島まで追いかけてきた。そんなか博物学者が死亡、娘のフェイスは父の死因に疑問を抱くが……。謎めいた父の手記。嘘を養分に育ち、食べた者に真実を見せる実のなる不思議な木。フェイスはその木を利用して父の死の真相を暴く決意をする。コスタ賞大賞・児童書部門ダブル受賞の名作、文庫化。</p>  |                            |         |
| <p>著者紹介：英国ケント州生まれ。オックスフォード大学卒業後、2005年に発表したデビュー作Fly By Nightでブランフォード・ボウス賞を受賞。2011年に発表したTwilight Robberyがガーディアン賞の最終候補に、また2012年の『ガラスの顔』がカーネギー賞候補に、2014年の『カッコの歌』は英国幻想文学大賞を受賞し、カーネギー賞の最終候補になった。そして2015年、『嘘の木』（東京創元社）でコスタ賞（旧ウィットブレッド賞）の児童文学部門、さらに同賞の全部門を通しての大賞に選ばれるという快挙を成し遂げ、米国のポストングローブ・ホーンブック賞も受賞、カーネギー賞の最終候補にもなった。2017年に刊行された『影を呑んだ少女』もカーネギー賞の最終候補作に選ばれた。</p> |                            |         |

|   |                         |        |
|---|-------------------------|--------|
| 37  | Rock Paper Scissors ※原題 | 創元推理文庫 |
| アリス・フィーニー   | 越智 睦 訳                  | 2022年内 |
| <p>脚本家のアダムと動物保護施設で働くアメリカのライト夫婦は、長いことうまくいっていなかった。そんなふたりに、クリスマスのかじでスコットランド旅行が当たる。アダムとアメリカは分かっている。この旅行が自分たちの結婚を救うか、とどめの一撃になるかのどちらかだ。ただ、この旅行は景品などではなく、仕組まれたものだった。猛吹雪の中、古い教会に取り残されるふたり。仕組んだのはアダムか、それともアメリカか——。『彼と彼女の衝撃の瞬間』のアリス・フィーニーが贈る、とてつもない衝撃が待ち受ける傑作サスペンス！</p> |                         |        |
| <p>編者紹介：BBCで15年間、記者やプロデューサーとして勤務したのち、2017年に『ときどき私は嘘をつく』でデビュー。同書は20以上の言語に翻訳され、ベストセラーとなった。現在はロンドン近郊のサリー州で夫と愛犬と暮らす。</p>  |                         |        |

|   |                            |        |
|---|----------------------------|--------|
| 38  | Cinnamon and Gunpowder ※原題 | 創元推理文庫 |
| イーライ・ブラウン   | 三角 和代 訳                    | 2022年内 |
| <p>海賊団に雇い主を殺害され、しかも海賊船に拉致されてしまった料理人ウェッジウッド。長い赤髪とオリーブ色のコートがトレードマークの女船長マボットから「命が惜しければ最高の料理を作れ！」と脅され、ウェッジウッドは毎週日曜、マボットだけに極上の料理を作ることに。物資も設備も不足している海賊船で特別料理を作るため、ウェッジウッドはレーズンと小麦とココナッツウォーターからパン種を作ったり、砲弾をすりこぎ代わりに使ったりするなど、知識と経験とひらめきを総動員して工夫を重ねる。まったく異なる世界で過ごしてきたふたりは、徐々にお互いのことを知るようになるが、マボットと因縁があるフランス人科学者率いる敵船に襲われてしまい……。海賊冒険小説×お料理小説！</p> |                            |        |
| <p>著者紹介：子供時代は世界の神話に興味をもち、ミルズ・カレッジで美術学修士号取得。本書はカリフォルニア・ブック・アワード候補となる。他の作品にThe Great Days(2008、ファブリ文学賞受賞)、The Feasts of Tre-Mang (2014)、Oddity (2021)がある。</p>   |                            |        |

|  |  |         |
|--|--|---------|
| 39   | 『悪い弁護士は死んだ』 上下<br>Den Sanna Historien om Pinocchios Näsa | 創元推理文庫  |
|  | レイフ・GW・ペーション   | 久山 葉子 訳 |
|  |  | 2022年3月 |
| <p>その日はベックストレーム警部にとって人生最良の日だった。マフィアお抱え弁護士として警察を悩ませてきたエリクソンが死体で発見されたのだ。被害者は自宅で殺されたと思われ、死因は鈍器による殴打、部屋からは被害者が発射した銃弾の跡が発見された。だが奇妙なことに、主人が殺害された四時間後に、飼い犬が殺されていたのだ。エリクソンを恨んでいた人物は多数いるはずだが……。CWAインターナショナル・ダガー最終候補作。</p> |  |         |
| <p>著者紹介：1945年スウェーデン、ストックホルム生まれ。スウェーデンを代表するミステリ作家のひとり。犯罪学教授として、国家警察委員会の顧問も務めていた。1978年にデビュー作Grisfesten を発表。以降、『許されざる者』『見習い警官殺し』『平凡すぎる犠牲者』など何作ものミステリを発表している。</p>  |  |         |

|   |   |         |
|---|---|---------|
| 40  | The Easter Make Believers<br>(別題：Good Hot Hate) ※原題 | 創元推理文庫  |
|   | フィン・ベル  | 安達 眞弓 訳 |
|   |   | 2022年初夏 |
| <p>イースター目前の真夜中、ニュージーランドの小さな町で人質事件が発生した。夫婦と娘ふたりがいた一般家庭に、銃を手にした男たちが立てこもったという。刑事ニックが現場に到着すると、突然、家から大音量で音楽が流れ、爆発が起きた。狙撃班が銃弾を浴びせ、機動隊が突入、妻と娘たちを救出。だが家には射殺された犯人グループ5人の遺体はあったが、夫の姿がなかった。警察は、生き残った犯人が夫を連れて逃亡したと考え、大規模な捜索を開始する。謎めいた行動を取る男の目的とは――。『死んだレモン』の著者が贈る意外性抜群の衝撃作！</p> |   |         |
| <p>著者紹介：1978年南アフリカ生まれ。法心理学の専門家として、南アフリカの裁判所や刑務所で被告人や受刑者の心のケアにあたっていた。その後ニュージーランドへ移住し、ウェリントンの刑務所で精神鑑定や受刑者のカウンセリングなどに従事する。2016年にパートナーとともに生活拠点を南島のダニーデンへと移し、専業作家としてのスタートを切る。2016年に発表した『死んだレモン』はナイオ・マーシュ賞新人賞を受賞した。</p>   |   |         |

|   |                                     |          |
|---|-------------------------------------|----------|
| 41  | Endangered (猟区管理官ジョー・ピケット・シリーズ) ※原題 | 創元推理文庫   |
|   | C・J・ボックス                            | 野口 百合子 訳 |
|   |                                     | 2022年6月  |
| <p>猟区管理官ジョー・ピケットの養女エイプリルが、ロデオカウボーイのダラスと駆け落ちした。ダラスはかつて女性への暴行事件を起こした疑いがあり、ジョーは以前から交際に反対していた。そしてある日、頭を殴打され、重傷を負ったエイプリルが発見された。だがダラスは落馬で大怪我をして実家に戻っており、事件とは無関係だと言われてしまう。ジョーはダラスを疑いながらエイプリル暴行犯を探したそうとするが……。大人気シリーズ第15弾！</p> |                                     |          |
| <p>著者紹介：アメリカのワイオミング州生まれ。さまざまな職業を経て旅行マーケティング会社を経営。2001年、猟区管理官のジョー・ピケットを主人公にした『沈黙の森』で作家デビューし、アンソニー賞、マカヴィティ賞、ガムシュー賞、バリー賞各賞の新人賞を受賞した。エドガー賞最優秀長編賞を受賞した『ブルー・ヘヴン』のほか、猟区管理官ジョー・ピケット・シリーズの『発火点』『越境者』など著書多数。</p>                |                                     |          |

|  |                           |         |
|--|---------------------------|---------|
| 42   | <b>A Line to Kill ※原題</b> | 創元推理文庫  |
| アンソニー・ホロヴィッツ   | 山田 蘭 訳                    | 2022 年内 |
| 『メインテーマは殺人』の刊行まであと3ヵ月。プロモーションの一環として、探偵ダニエル・ホーソーンとわたし、アンソニー・ホロヴィッツは、無名の新しい文芸フェスに参加するため、チャンネル諸島のオルダニー島を訪れた。どことなく不穏な雰囲気漂っていたところ、文芸フェスの関係者の死体が発見されて……。年末ミステリランキング完全制覇の『メインテーマは殺人』『その裁きは死』に続く、ホーソーン&ホロヴィッツシリーズ最新刊。真つ向勝負の犯人当てミステリ！ |                           |         |
| 著者紹介：アガサ・クリスティへのオマージュ作『カササギ殺人事件』で『このミステリーがすごい!』『本屋大賞〈翻訳小説部門〉』の1位に選ばれるなど、史上初の7冠に輝く。さらにホーソーン&ホロヴィッツ・シリーズ『メインテーマは殺人』『その裁きは死』でもすべてのランキングで1位に選ばれ、3年連続で年末ミステリランキングの完全制覇を達成。『ヨルガオ殺人事件』でも3つのランキングで1位に選ばれる。                           |                           |         |

|  |  |        |
|--|--|--------|
| 43   | <b>『平凡すぎて殺される』<br/>A Man With One of Those Faces</b> | 創元推理文庫 |
| クイーム・マクドネル   | 青木 悦子 訳  | 発売中    |
| “平凡すぎる”顔が特徴の青年・ポールは、わけあって無職のまま、ボランティアで病院を訪れ、彼を身内と思いこんだ入院中の老人を癒す日々を送っていた。ある日、慰問した老人に誰かと間違えられて刺されてしまう。実は老人は有名な誘拐事件に関わったギャングだった。そのためポールは爆弾で命を狙われ、さらに……。身を守るには逃げながら誘拐の真相を探るしかない!? アイルランド発、巧みな構成が光るノンストップ・ミステリ！ |  |        |
| 著者紹介：アイルランドのリムリック生まれ、ダブリン育ち。小説家、TVの放送作家、コメディアン。小説家としては全5作の〈ダブリン三部作（トリロジー）〉シリーズ、〈バニー・マガリー〉シリーズなど、ダブリンやマンチェスターを舞台にしたミステリや犯罪小説を執筆している。『平凡すぎて殺される』は2017年に、アイルランドのインディペンデント出版を奨励するCAPアワードの最優秀長編小説部門にノミネートされた。   |  |        |

|  |  |           |
|--|--|-----------|
| 44   | <b>『ロンドン謎解き結婚相談所3』 ※仮題<br/>A Rogue's Company</b> | 創元推理文庫    |
| アリスン・モントクレア  | 山田 久美子 訳   | 2022 年秋～冬 |
| 1946年、戦後ロンドン。アイリスとグウェンの結婚相談所は順調に経営を続けていたが、それはグウェンの義父であるペインブリッジ卿がアフリカから戻ってくるまでだった。義父は威圧的に振る舞い、グウェンとは息子をめぐって対立する。翌日、相談所に初めて黒人の入会希望者がやってきた。農業技術を学び、流暢な英語を話す好青年だが、グウェンは彼の話が嘘だらけだとも感じていた。その予感に当たり、彼はペインブリッジ家をめぐるとんでもない陰謀に関わっていて……。大人気シリーズ最新作！ |  |           |
| 著者紹介：アガサ・クリスティのペーパーバックと、ジェームズ・ボンドものの映画にのめりこんで育った結果、犯罪小説やスパイ小説に夢中になり、現在は史実の謎めいた断片から着想を得て小説を執筆している。『ロンドン謎解き結婚相談所』がデビュー作で、続編に『王女に捧ぐ身辺調査』がある。  |  |           |

|  |   |         |
|--|---|---------|
| 45   | <b>The Murder Mystery Book Club ※原題</b> | 創元推理文庫  |
| C・A・ラーマー   | 高橋 恭美子 訳                                | 2022 年夏 |
| ミステリマニア、クリスティファンの姉アリシアと妹リネットが主宰する読書会が発足。SNSで会員を募集したところ、集まってきたのは、ハンサムな開業医や秘密のありそうな主婦、博物館勤務の男性やクリスティ通の図書館司書などの個性的な面々。だが読書会で肝心の進行役を務めるはずの主婦が一向に来ない。そういえば前回会ったときに何やら不安なことがありそうだったのだが……。ミステリ読書会が舞台のシリーズ第1弾。 |   |         |
| 著者紹介：ジャーナリスト、雑誌編集者、教師。著作は〈アガサ・クリスティ読書会〉シリーズが4作、〈ゴーストライター〉シリーズが7作、ノンフィクションが数冊。熱帯地方で生まれ育ち、ロンドン、ロサンゼルス、ニューヨークで数年働いたのち、現在はミュージシャンの夫と息子ふたりと生意気な牧畜犬一頭とたくさんのコアラや蛇と共に、オーストラリアのニューサウスウェールズ州北部バイロン・ベイに住んでいる。     |   |         |

|  |                                |         |
|--|--------------------------------|---------|
| 46   | 『英国屋敷の二通の遺書』<br>A Will to Kill | 創元推理文庫  |
| R・V・ラーム  | 法村 里絵 訳                        | 2022年3月 |
| <p>英国人が建築し、代々の主が非業の死を遂げたグレイブルック荘。数々の事件を解決した元警官のアスレヤは、財産家の主バスカーに請われて屋敷を訪れた。バスカーは何者かに命を狙われ、二通の遺書を書いていた。自分の死が不自然か否かによって、内容の違うどちらかが効力を持つ。遺書が一族や隣人たちの心をざわつかせるなか、ついに敷地内の礼拝堂で殺人が！ アスレヤは殺人と屋敷をめぐる謎に挑む。インド発、英国犯人当て小説の香気漂う清新なミステリ！</p> |                                |         |
| <p>著者紹介：インド生まれ。ビジネス戦略を教えつつ執筆活動を行なっている。2014年に初の小説Fraudsterを刊行。その後三作のスリラーを上梓した。本書は2019年6月にハーバーインドで刊行した初のフーダニットで、その後アメリカのPolis Booksが版權を買い上げ、2020年に発売された。続編A Dire Isleが刊行されている。</p>   |                                |         |

|  |                   |         |
|--|-------------------|---------|
| 47   | Sweet Nothing ※原題 | 創元推理文庫  |
| リチャード・ラング  | 吉野 弘人 訳           | 2022年初夏 |
| <p>2015年CWA賞短編部門賞と2011年ベスト・アメリカン・ミステリー・ストーリーズに選出された2編を含む10作収録の傑作短編集。良き夫、良き父であった男が知人の引っ越しパーティに招かれ、そこで働いた小さな悪事をきっかけに壊れていく「夕闇が迫る頃」。職を失って麻薬に溺れ、服役後の人生をやりなおそうとしている男は、何のために生きているのか自問自答しながら、小さな幸せと不幸せを積み重ねて生きる「甘いささやき」。“余韻を読ませる”著者が、殺人の目撃者、麻薬中毒者、前科者、看守など犯罪に関わる人々の孤独と希望を真摯に描く。</p>      |                   |         |
| <p>著者紹介：カリフォルニア州オークランド出身。編集者を経て、2008年に作家デビューを果たし、本書を含め、3作の長編と2作の短篇集を上梓している。長編はいずれもノン・シリーズ。長編第2作のAngel Babyは、2013年ハメット賞長編賞を受賞。本書に収められたApocryphaが2015年CWA賞短編部門賞を受賞（同じく本書収録のSweet Nothingも最終候補作に選ばれている）。Baby Killerが2011年にBest American Mystery Storiesに選ばれるなど、短編の名手としても知られている。</p> |                   |         |

|  |                            |         |
|--|----------------------------|---------|
| 48   | 『裏切り』 ※仮題<br>Die Betrogene | 創元推理文庫  |
| シャルロッテ・リンク   | 浅井 晶子 訳                    | 2022年6月 |
| <p>ロンドン警視庁の刑事ケイトが、故郷に帰ったのは、引退した刑事である父が何者かに惨殺されたからだった。30代後半、独身のケイトと、母の病死後一人暮らしだった父との絆は強かった。犯人は彼に逮捕され恨みを抱く最近出所した男なのか？ さらに父親について話したいと電話してきた女性も惨殺されてしまう！ 父の死には何か秘密があるのか？ ケイトと地元の刑事、そしてその同僚の女性刑事、それぞれの捜査は何を見出すのか？ 読みだしたらやめられないスリリングな展開、そしてまさに驚愕の結末。『失踪者』で読者の度肝を抜いた稀代の語り手リンクが贈るノンストップ傑作ミステリ。またしても徹夜必至です。</p> |                            |         |
| <p>著者紹介：1963年ドイツのフランクフルト生まれ。大学進学前、19歳で歴史小説家としてデビュー。大学では法学を学ぶ。1999年刊の『姉妹の家』で初めて「シュピーゲル」誌のベストセラー・リストに。以後、今日までベストセラーを連発し、国民的作家として活躍を続けている。現在はヴィースバーデンで夫とともに犬と暮らしている。他の著作に『沈黙の果て』『失踪者』等がある。</p>  |                            |         |

49

|   |         |         |
|---|---------|---------|
| <b>Paper Son ※原題</b>  |         | 創元推理文庫  |
| S・J・ローザン  | 直良 和美 訳 | 2022 年春 |
| <p>「ミシシッピへ行きなさい。あの白いマントヒヒを連れて」突然の母の言葉に私立探偵のリディアは言葉を失った。パートナーのビルとわたしが、なぜアメリカ南部に？ ……それは殺人の容疑をかけられた甥の息子の無実を証明してほしいという、親戚からの依頼だった。ビルを伴い自分たち家族が住んだかもしれない町を訪れたリディアは、そこで渦中の容疑者が脱走したことを知る。知られざる中国系アメリカ人の歴史をひもときつつ、事件の解決に奔走するふたり。〈リディア・チン&amp;ビル・スミス〉シリーズ最新作登場！</p>                          |         |         |
| <p>著者紹介：アメリカの作家。1950年生まれ。様々な職業を経て、90年頃から書き始めたミステリで、ふたりの私立探偵、中国系女性のリディア・チンと白人男性のビル・スミスを生み出し、94年に発表した『チャイナタウン』を第一作とする長編や多くの中短編で活躍させている。『ピアノ・ソナタ』『天を映す早瀬』でシェイマス賞、『どこよりも冷たいところ』でアンソニー賞、『冬そして夜』でMWA（アメリカ探偵作家クラブ）最優秀長編賞を、「ペテン師ディランシー」でMWA最優秀短編賞を受賞するなど、現代を代表する私立探偵小説の書き手として高く評価されている。</p> |         |         |

50

|  |           |        |
|--|-----------|--------|
| <b>『世界推理短編傑作集 6』</b>   |           | 創元推理文庫 |
| 戸川 安宣 編  | 深町 眞理子 他訳 | 発売中    |
| <p>『世界推理短編傑作集』は江戸川乱歩が愛読する珠玉の名作を厳選して全5巻に収録し、19世紀半ばから1950年代までの短編推理小説の歴史的展望を読者に提供してきた。本書は5巻までに取り上げられなかったチャンドラー、ケメルマン、イネスなど名だたる作家の名作を拾遺し、歴史的なアンソロジーの補完を試みたものである。全13作中ガボリオ「パティニョールの老人」、バック「身代金」、シムノン「メグレのパイプ」、アーサー「五十一番目の密室またはMWAの殺人」の4作を新訳で贈る。</p> |           |        |
| <p>編者紹介：1947年長野県生まれ。立教大学卒。元・東京創元社社長。編集者としてミステリ作家を多数育成する傍ら、文庫解説等の執筆を行う。著書に『僕のミステリ・クロニクル』がある。江戸川乱歩編『世界推理短編傑作集』1-5巻のリニューアルを担当した。</p>  |           |        |



## ファンタジイ Lineup for 2022 : Fantasies

- |  |  |          |
|--|--|----------|
| 51   | <p><b>『クマとサヨナキドリ』 ※仮題</b><br/> <b>The Bear and the Nightingale</b></p> | 創元推理文庫   |
| <p>キャサリン・アーデン                      金原 瑞人、野沢 佳織 訳</p>   |  | 2022年夏～秋 |
| <p>ルーシ北部の領主の娘ワーシャは、幼い頃から精霊を見る力をもっていた。だが生母が亡くなったことで、彼女の運命は一変した。新しい母アンナは、精霊を嫌ったのだ。さらに都から来た神父が精霊信仰を禁じたため、人々を悪しきものから守っていた精霊たちの力が弱くなってしまった。ある年、村を冬の寒さと夜の魔物が襲った。ワーシャ精霊を助け、魔物と戦うが……。心のままに生きようとする少女ワーシャの闘いを描く、三部作開幕。</p> |  |          |
| <p>著者紹介：米国テキサス州オースティン生まれ。モスクワで教育を受け、フランスのアルプスの学校で教えたりハワイの農場で働いたりしたのち作家に。このWinternight Trilogy三部作の第1作The Bear and the Nightingaleでデビューして一躍人気に。現在はバーモント州在住。</p>  |  |          |
- 
- |  |   |          |
|--|---|----------|
| 52   | <p><b>『城の人々』 ※仮題</b><br/> <b>The People in the Castle--Selected Strange Stories</b></p> | 四六判上製    |
| <p>ジョーン・エイキン                      三辺 律子 訳</p>  |   | 2022年夏～秋 |
| <p>ガーディアン賞・エドガー賞を受賞した著者による、奇妙で幻想的な短編集。</p>   |   |          |
| <p>著者紹介：1924年英国イースト・サセックス州生まれ。父はピューリッツァー賞受賞の詩人コンラッド・エイキン。ジャーナリストの夫が亡くなってほどなく、作家としての本格的なキャリアをスタートさせる。〈ダイドールの冒険〉シリーズ、〈アラベルとモーチマー〉シリーズをはじめ、大人向けのホラーストーリーや、ファンタジー短編集、詩、戯曲と、生涯にわたって百冊以上の本を出版した。1960年にはガーディアン賞、1972年にはエドガー賞を受賞している。2004年没。</p> |   |          |
- 
- |   |  |         |
|---|--|---------|
| 53  | <p><b>『ピラネージ』</b><br/> <b>Piranesi</b></p> | 四六判上製   |
| <p>スザンナ・クラーク                      原島 文世 訳</p>   |  | 2022年4月 |
| <p>海に囲まれた巨大な建造物の中で暮らしている男性がいた。この世界には彼のほかにもう一人だけ生きた人間がいる。彼は相手を〈もうひとり〉と呼び、相手は彼をピラネージと呼んでいる。ピラネージはある日、〈もうひとり〉ではない、奇妙な老人に出会う。老人と話したことから、彼は次第に自分が何者で、なぜこの奇妙な世界にいるのかを探り始める。異世界とは何か、人はなぜ異世界に惹かれるのかを問う、謎に満ちたファンタジー。</p>                                 |  |         |
| <p>著者紹介：英国の作家。ジャーナリストを目指してオクスフォード大学で哲学、政治学、経営学を専攻。卒業後は出版社に勤める傍ら、1990年代後半から短編を発表。デビュー長編『ジョナサン・ストレンジとミスター・ノレル』を10年がかりで執筆した。2004年に出版されたデビュー作は一躍ベストセラーとなり、世界幻想文学大賞、ヒューゴー賞、ローカス賞、ミソピーイク賞など数々の賞を受賞している。その後体調を崩したため、今年9月に刊行された本書は実に16年ぶりの長編第2作となる。</p> |  |         |

|  |  |         |
|--|--|---------|
| 54   | 『 <b>呑み込まれた男</b> 』 ※ <b>仮題</b><br><b>The Swallowed Man</b> | 四六判上製   |
| エドワード・ケアリー   | 古屋 美登里 訳   | 2022年7月 |
| あのピノッキオを作ったジュゼッペは、クジラの腹に呑み込まれたあとどうしていたのか。鬼才ケアリーが想像力を駆使して描く、驚愕の物語。  |  |         |
| 著者紹介：1970年にイングランド東部のノーフォーク州で生まれる。これまでに長篇小説『望楼館追想』（2000）、『アルヴァとイルヴァ』（2003）、〈アイアマンガー三部作〉（2013, 2014, 2015）『おちび』（2018）『呑まれた男』（2020）を発表。イラストレーター、彫塑家としても国際的に活躍。現在はアメリカ合衆国テキサス州で妻と子供ふたりと暮らしている。妻はアメリカの作家エリザベス・マクラッケン。 |  |         |

|   |   |        |
|---|---|--------|
| 55  | 『 <b>魔法使いの失われた週末</b> 』<br><b>Owen Palmer's Lost Weekend of Poison, Potions, and Pizza and Other Stories</b> | 創元推理文庫 |
| シャンナ・スウェンドソン  | 今泉 敦子 訳   | 発売中    |
| （株）マジック・スペル&イリュージョンはニューヨークの魔法界で呪文を開発販売する会社。CEOはなんと伝説の大魔法使いマーリンその人だ。シャイで赤面症の研究開発部理論魔術課の責任者オーウェンと養母、互いを思いやりながらも素直に愛情を表現できない二人の心の交流を描いた表題作など、本短編集のために書き下ろされた1編を含む全4編を収録。日本オリジナル編集。大ヒットシリーズ〈（株）魔法製作所〉初の短編集登場。 |   |        |
| 著者紹介：米国テキサス生まれのテキサス育ち。大学卒業後いったんは広報の仕事に就くものの、作家の夢を諦めきれず執筆を続け、〈（株）魔法製作所〉シリーズで人気に。他に〈フェアリーテイル〉シリーズも翻訳刊行されている。  |   |        |

|   |                             |        |
|---|-----------------------------|--------|
| 56  | <b>Spindled</b> ※ <b>原題</b> | 創元推理文庫 |
| シャンナ・スウェンドソン  | 今泉 敦子 訳                     | 2022年秋 |
| 〈（株）魔法製作所〉でお馴染みの著者が、『眠れる森の美女』を元に描いたロマンティック・ファンタジー決定版！ |                             |        |

|   |  |         |
|---|--|---------|
| 57  | 『 <b>彼岸の花嫁</b> 』<br><b>The Ghost Bride</b> | 創元推理文庫  |
| ヤンシー・チュウ  | 坏 香織 訳                                     | 2022年3月 |
| リーランは父から富豪のリン家が彼女を、亡き息子の花嫁に望んでいるといわれる。年ごろの娘にとって幽霊の花嫁なんてあんまりな話だ。やがてリーランは毎晩夢の中で、亡きリン家の息子に結婚を迫られるようになる。なんとか幽霊との結婚を阻止すべく、死者の世界に向かうが、そこには驚くべきからくりが待っていた。死者と生者の世界が交錯する驚天動地の恋物語。 |  |         |
| 著者紹介：中国系マレーシア人作家。ハーバード大学卒業。デビュー作『彼岸の花嫁』がニューヨーク・タイムズのベストセラーに。現在はカリフォルニアに家族とともに住んでいる。   |  |         |

|    |   |         |
|----|---|---------|
| 58 | 『イスランの白琥珀』【文庫版】   | 創元推理文庫  |
|    | 乾石 智子 (いぬいし・ともこ)  | 2022 年夏 |
|    | <p>国母イスランにその才を見いだされた大魔道師ヴェルナイ。いまわのきわのイスランに国の行く末を託されたものの、王族の後継者争いで裏切りにあい、その名声も地に堕ちた。それから数十年、国の中枢には欲にまみれた連中がはびこり、存亡の危機に。密かにオーヴァイディンと名を変えて生きていたヴェルナイは、無実の罪で捕らえられた若い女族長を助けるが……。魔道帝国イスラリル中興の祖を描く〈オーリエラントの魔道師〉シリーズ。</p>     |         |
|    | <p>著者紹介：山形県生まれ、山形県在住。1999年教育総研ファンタジー大賞受賞。スターウルフで目を覚まし、コナン・ザ・バーバリアンから最初の一步を助けてもらった。著書に『夜の写本師』『魔道師の月』『太陽の石』『オーリエラントの魔道師たち』『紐結びの魔道師』『沈黙の書』『赤銅（あかがね）の魔女』『白銀（しろがね）の巫女』『青炎（せいえん）の戦士』『イスランの白琥珀』『久遠の島』『闇の虹水晶』『滅びの鐘』などがある。</p> |         |

|    |   |         |
|----|---|---------|
| 59 | 『オーリエラントの魔道師たちⅡ』 ※仮題  | 創元推理文庫  |
|    | 乾石 智子 (いぬいし・ともこ)  | 2022 年冬 |
|    | <p>ひっそりと暮らす魔道師夫婦にふりかかる運命を描く「セリアス」、運命女神の魔法をもつ女たちの活躍を描く「運命女神の指」、書物の魔道師ケルシュの若き日の物語「ジャッカル」など全4編を収録。自らのうちに闇を抱え、人々の欲望の澱をひきうけ、黒い運命を呼吸する……。〈オーリエラントの魔道師〉シリーズ久々の短編集。</p> |         |

|    |   |            |
|----|---|------------|
| 60 | 『ヴェネツィアの陰の末裔』   | 創元推理文庫     |
|    | 上田 朔也 (うえだ・さくや)   | 2022 年 4 月 |
|    | <p>ベネデットには、11歳で孤児院に引き取られるまでの記憶がない。あるのは繰り返し見る両親の死の悪夢だけ。魔力を発現して以来、ヴェネツィア共和国の魔術師として陰の世界に生きている。あるとき魔術師たちはハプスブルグによる、元首暗殺計画の情報を掴む。計画は未然に防いだものの、その背後には恐るべき陰謀が……。異端と迫害されながらも、列強の権謀術数のただ中に身を置く魔術師の姿を描く、第5回ファンタジー新人賞佳作作品。</p> |            |
|    | <p>著者紹介：大阪府出身。京都大学文学部卒業。2020年『ヴェネツィアの陰の末裔』が第5回創元ファンタジー新人賞佳作に選出される。</p>  |            |

|    |   |            |
|----|---|------------|
| 61 | 『皇女アルスルと角の王』 ※仮題  | 創元推理文庫     |
|    | 鈴森 琴 (すずもり・こと)  | 2022 年 6 月 |
|    | <p>才能もなく人づきあいも苦手な皇帝の末娘アルスル。ある日、舞踏会に出席していた彼女の目の前で、父が何者かに暗殺されてしまう。アルスルは捕まり、無実の訴えも空しく帝都の裁判で死刑を宣告される。貴族のならいで一族の所領・城郭都市ダーウィーズに護送されたアルスルを待っていたのは、鍵の城の城主リサシーブだった。優れた能力を持つ獣、人外が跋扈する世界を舞台に、変わり者と言われた少女の運命を描く異世界ファンタジー。</p> |            |
|    | <p>著者紹介：東京都出身。玉川大学文学部卒業。2018年の第3回創元ファンタジー新人賞に佳作入選した『忘却城の界人』を、2019年『忘却城』と改題してデビュー。著書として他に『忘却城 鬼帝女の涙』『忘却城 炎龍の宝玉』がある。</p>  |            |

|  |                  |         |
|--|------------------|---------|
| 62   | 『妖怪の子、育てます2』 ※仮題 | 創元推理文庫  |
|  | 廣嶋 玲子 (ひろしま・れいこ) | 2022 年秋 |
| 妖怪奉行所西の天宮のお奉行様のもとで修行することになった、千吉と双子が巻き起こす大騒動！ 好評シリーズ第2弾。〈妖怪オリジナルキャラクター〉結果発表も。   |                  |         |
| 著者紹介：神奈川県生まれ。『水妖の森』で、ジュニア冒険小説大賞を受賞し2006年にデビュー。主な作品に、〈ふしぎ駄菓子屋銭天堂〉シリーズ、〈妖怪の子預かります〉シリーズ〈ナルマン年代記〉三部作、〈十年屋〉シリーズ、〈秘密に満ちた魔石館〉シリーズ、〈鬼遊び〉シリーズ、『送り人の娘』、『火鍛冶の娘』、『魂を追う者たち』『鳥籠の家』『銀獣の集い』〈ナルマン年代記〉三部作、などがある。 |                  |         |

|   |                    |       |
|---|--------------------|-------|
| 63  | 『妖怪の子、育てます1』【児童書版】 | 四六判並製 |
|   | 廣嶋 玲子 (ひろしま・れいこ)   | 発売中   |
| 妖怪の子預かり屋の弥助は、妖怪に育てられたのだが、わけあって育ての親を失い、かわりにあらわれた赤んぼう千吉を、いっしょうけんめい育てている。子どもを預けにくる妖怪たちのせいで、毎日大さわぎだ。そんなある日、大家の久蔵のふたごの娘たちが、おそろしい黒い影にさらわれてしまった。妖怪奉行所西の天宮のお奉行さまで、犬神の長、朔ノ宮の手がさがすことに……。大人気の児童書版〈妖怪の子預かります〉第二部開始！ |                    |       |

|   |                    |        |
|---|--------------------|--------|
| 64  | 『やおよろず神異録 鎌倉奇聞』 上下 | 創元推理文庫 |
|   | 真園 めぐみ (まその・めぐみ)   | 発売中    |
| 精霊の恵み豊かな地遠谷に生まれ、葉の行商で各地をまわる真人は、祭りのために帰郷した。だが祭りを目前にしたその日、村を正体不明の武士の集団が襲った。彼らは村人を殺し神域を穢したばかりか、神社から御神刀を奪い、真人の大切な友、颯も連れ去ってしまった。友を救うべく、真人は神域で出会った流れ神と共に、武士たちが向かった鎌倉を目指す。二代將軍頼家の時代の鎌倉を舞台にした、華麗なファンタジ絵巻。 |                    |        |
| 著者紹介：岐阜県出身。立命館大学文学部日本史専攻卒業。2015年第1回創元ファンタジイ新人賞優秀賞受賞。著書に『玉妖綺譚』『玉妖綺譚2 異界の庭』『玉妖綺譚3 透樹の園』、『ナチュラル・カラース』（『小説 魔法使いの嫁 銀糸篇』所収）がある。   |                    |        |

|  |                 |            |
|--|-----------------|------------|
| 65   | 『吸血鬼文学名作選』 ※仮題  | 創元推理文庫     |
|  | 東雅夫 (ひがし・まさお) 編 | 2022 年 6 月 |
| 世代交代とともに新たに脚光を浴びつつある「吸血鬼」。本書は、日本文学史に残る名作佳品の中から、記憶に残る吸血鬼文学の逸品を拾い集めた、決定版的一巻である。  |                 |            |
| 著者紹介：1958年神奈川県生まれ。早稲田大学卒。文芸評論家、アンソロジスト。『幻想文学』と『幽』の編集長を歴任。著書に『遠野物語と怪談の時代』（日本推理作家協会賞受賞）、『百物語の怪談史』、編纂書に『日本怪奇小説傑作集』（共編）、『平成怪奇小説傑集選』、『世界怪奇実話集 屍衣の花嫁』、『日本怪奇実話集 亡者会』、『文豪怪談傑作選』、『猫のまぼろし、猫のまどわし』ほか多数。 |                 |            |

|   |                 |            |
|---|-----------------|------------|
| 66  | 『鬼文学名作選』 ※仮題    | 創元推理文庫     |
|   | 東雅夫 (ひがし・まさお) 編 | 2022 年 7 月 |
| 今ひそかに話題を呼ぶ「鬼」。人に似て人にあらざる妖物の真の魅力を、総力で探究！ 文豪たちが名訳した、古今の鬼文学の名作佳品とともにおくる、決定版アンソロジー。 |                 |            |

## SF Lineup for 2022 : Science Fiction

|  |  |                         |
|--|--|-------------------------|
| 67   | 『永遠の真夜中の都市』<br>The City in the Middle of the Night | 四六判仮フランス装<br>(創元海外SF叢書) |
|  | チャーリー・ジェーン・アンダーズ                                   | 市田 泉 訳                  |
|  |  | 2022年3月                 |
| <p>常に太陽に同じ面を向ける植民惑星の、永遠の昼と夜に挟まれた黄昏地帯で、ゆるやかに衰退してゆく人類。ソフィーは愛する対象であり革命を志すピアンカをかばって街を追放されるが、永遠の夜の中で異質な知的生命体と出会い、人類がこの過酷な惑星で生き延びるための重大な秘密に迫ってゆく……。ネビュラ賞・ローカス賞受賞作『空のあらゆる鳥を』の新鋭作家が放つ、清新なSF。ローカス賞SF長編部門受賞・ヒューゴー賞候補作。</p>   |  |                         |
| <p>著者紹介：コネチカット州生まれ。ケンブリッジ大学で英文学とアジア文学を学ぶ。2012年に"Six Months, Three Days"でヒューゴー賞中編部門を受賞。『空のあらゆる鳥を』でネビュラ賞長編部門・ローカス賞ファンタジー長編部門・クロフォード賞の三冠に輝いた。2008年にサイエンス・カルチャー・ウェブサイトio9を共同創設した人物でもある。MtFのトランスジェンダー女性で同性愛者であることを公表している。</p>   |  |                         |
| 68   | 『逃亡テレメトリー マーダーボット・ダイアリー』<br>Fugitive Telemetry     | 創元 SF 文庫                |
|  | マーサ・ウェルズ   | 中原 尚哉 訳                 |
|  |  | 2022年4月                 |
| <p>かつて大量殺人を犯したとされたが、その記憶を消されていた人型警備ユニットの「弊機」。紆余曲折のすえブリザベーション連合に落ち着いた弊機は、ステーション内で他殺体に遭遇する。弊機は警備局員のインダーたちとともに捜査をはじめが……累計ヒューゴー賞4冠&amp;ネビュラ賞2冠&amp;ローカス賞3冠&amp;日本翻訳大賞受賞の大人気シリーズ第3弾！ スピンオフ短編2編を併録。</p>  |  |                         |
| <p>著者紹介：1964年テキサス州フォートワース生まれ。テキサスA&amp;M大学で人類学の学位を取得。1993年に長編The Element of Fireで単行本デビュー。第一長編を対象とするコンプトン・クルック賞候補になった。3作目の長編The Death of the Necromancer (1998) ではネビュラ賞の候補となる。《マーダーボット・ダイアリー》シリーズ第1話「システムの危殆」(2017)でヒューゴー賞・ネビュラ賞・ローカス賞の各ノヴェラ部門を受賞、第2話「人工的なあり方」(2018)でヒューゴー賞・ローカス賞の各ノヴェラ部門をふたたび受賞。邦訳された『マーダーボット・ダイアリー』は2020年、第7回日本翻訳大賞を受賞した。2020年の長編『ネットワーク・エフェクト』でヒューゴー賞・ネビュラ賞・ローカス賞を受賞。2021年には《マーダーボット・ダイアリー》でヒューゴー賞シリーズ部門も受賞した。</p> |  |                         |
| 69   | 『記憶のアーキテクト』 ※仮題<br>Architects of Memory            | 創元 SF 文庫                |
|  | カレン・オズボーン  | 赤尾 秀子 訳                 |
|  |  | 2022年冬                  |
| <p>宇宙に進出した人類は、事実上国家と化した企業の支配下で厳格な階級制社会を築いていた。そこへ攻撃をしかけてきた異星種族ヴァーイ。彼らの攻撃で人類は危機に瀕するが、突如として攻撃は中止され、休戦状態が訪れた。主人公の女性アシュランは恋人ケイトらとともにサルベージ船を運用していたが、あるときヴァーイの兵器らしき球体を発見する。</p>   |  |                         |
| <p>著者紹介：メリーランド州ボルチモア在住。これまでに短編多数と、長編Architects of MemoryおよびEngines of Oblivionを発表している。</p>   |  |                         |

|  |   |          |
|--|---|----------|
| 70   | 『 <b>輝石の空</b> 』 ※仮題<br><b>The Stone Sky</b> | 創元 SF 文庫 |
| N・K・ジェミシン  | 小野田 和子 訳                                    | 2022 年夏  |
| <p>破局的な地殻変動をもたらした〈季節〉の到来は人々に過酷な運命を強いる。母エッソンのなすべきことは〈月〉を捕まえ、〈季節〉が二度と来ないようにして世界を救うこと。娘ナッソンの願いはオロジェンを奴隷化するこの世界を破壊すること——。『第五の季節』『オペリスクの門』に続く、全作がヒューゴー賞受賞の三部作完結編。</p>   |   |          |
| <p>著者紹介：1972年米国アイオワ州生まれ、ブルックリン在住。メリーランド大学カレッジパーク校で教育学の修士号を取得。2002年に小説を発表し始める。2010年のデビュー長編『空の都の神々は』で翌年のローカス賞第一長編部門を受賞。2015年の『第五の季節』に始まる《破壊された地球》三部作で、前人未踏の3年連続ヒューゴー賞長編部門受賞を達成。第3部The Stone Skyではネビュラ賞長編部門も受賞した。</p> |   |          |

|   |   |            |
|---|---|------------|
| 71  | 『 <b>世界の終わりの天文台</b> 』【文庫版】<br><b>Good Morning, Midnight</b> | 創元 SF 文庫   |
| リリー・ブルックス＝ダルトン  | 佐田 千織 訳   | 2022 年 8 月 |
| <p>どうやら人類は滅ぶらしい。最後の撤収便に乗らず、北極の天文台に残った老学者は、取り残された見知らぬ幼い少女とふたりきりの奇妙な同居生活を始める。一方、帰還途中だった木星探査船の乗組員サリーは、地球からの通信が途絶えて不安に駆られながらも航海を続ける。終末を迎える惑星の極北で、宇宙の孤独な大海で——きょうで世界が終わるなら、あなたは誰と過ごしたい？ ジョージ・クルーニー監督主演映画『ミッドナイト・スカイ』原作。</p> |   |            |
| <p>著者紹介：バーモント州出身、オレゴン州ポートランド在住。10代の頃から世界を旅した経験を持ち、2015年4月、自伝的ノンフィクション Motorcycle I've Lovedで作家デビュー。同書はオレゴン・ブック・アワードの候補にもなった。小説デビュー作となる『世界の終わりの天文台』は、イーロン・リーやコルソン・ホワイトヘッドの賞賛を受けた。</p>                                  |   |            |

|  |   |          |
|--|---|----------|
| 72   | 『 <b>未踏の蒼穹</b> 』<br><b>Echoes of an Alien Sky</b> | 創元 SF 文庫 |
| ジェイムズ・P・ホーガン   | 内田 昌之 訳   | 発売中      |
| <p>金星文明は、かつて栄華を誇りながら絶滅した文明が存在する惑星、地球（テラ）の探査計画に取り組んでいた。テラ文明は宇宙空間に進出するほどの発展を遂げながら、なぜ滅んだのか？ 月の遺跡で発見された、テラ人が持っていたはずのない技術の痕跡は、なにを示唆しているのか？ 科学探査隊の一員カイアル・リーンは、テラ文明が遺した数々の謎に挑む。ハードSFの巨星が放つ、もうひとつの『星を継ぐもの』ついに邦訳！ 解説＝大野万紀</p>   |   |          |
| <p>著者紹介：1941年、英国ロンドン生まれ。コンピュータ・セールスマンだったが、1977年に一気に書き上げた長編『星を継ぐもの』でデビュー。同書は日本に翻訳紹介されると同時に爆発的な人気を博し、翌年の星雲賞を受賞。さらに『創世記機械』『内なる宇宙』でも同賞を受賞した。『造物主（ライフメーカー）の掟』『時間泥棒』など、最新科学技術に挑戦する作品を矢つぎばやに発表し、現代ハードSFの旗手として幅広い読者を獲得した。また『未来の二つの顔』『未来からのホットライン』『星を継ぐもの』は星野之宣によって漫画化されている。2010年没。</p> |   |          |

|   |                            |          |
|---|----------------------------|----------|
| 73  | 『蘇りし銃』 ※仮題<br>Revenant Gun | 創元 SF 文庫 |
| ユーン・ハ・リー  | 赤尾 秀子 訳                    | 2022 年夏  |
| <p>新暦発動から九年。旧六連合領域では新旧二つの勢力の争いが続いていた。ニライ・クジェンに新たな身体を与えられて目覚めた17歳のジェダオは、艦隊の指揮を委ねられる。一方チェリスは、六連合の非人間的な体制を生み出した元凶であるクジェンとの最終決戦が迫る中、秘めた思惑のもと姿を消していた。ローカス賞受賞『ナインフォックスの覚醒』と『レイヴンの奸計』に続く、本格宇宙SF《六連合》三部作堂々の完結編。</p> |                            |          |
| <p>著者紹介：1979年テキサス州ヒューストン生まれ。韓国系アメリカ人であり、幼少期をテキサス州と韓国の両方で過ごす。コーネル大学で数学を専攻し、スタンフォード大学で数学教育の修士号を取得。初長編『ナインフォックスの覚醒』（2016）でローカス賞第一長編部門受賞、ヒューゴー賞・ネビュラ賞候補となる。FtMのトランスジェンダー男性でクィアであり、夫・娘とともにルイジアナ州で暮らしている。</p>     |                            |          |

|   |   |          |
|---|---|----------|
| 74  | 『AI ロボット SF 傑作選 創られた心』<br>Made to Order | 創元 SF 文庫 |
| ケン・リュウ、ピーター・ワッツ、アレステア・レナルズ 他  | 佐田 千織 他訳                                | 発売中      |
| <p>人工的な心や生命。ゴーレム、オートマトン、ロボット、アンドロイド、ポット、人工知能——人間ではないが人間によく似た機械、人間のために注文に応じてつくられた物体というアイデアは、はるか古代よりわたしたちを魅了しつづけてきた。そしていま、その長い歴史に連なる最新のアンソロジーがここに登場する。ケン・リュウ、ピーター・ワッツ、アレステア・レナルズら、2021年ヒューゴー賞短編部門候補作を含む16の物語を収録。解説＝渡邊利道</p> |   |          |

|  |   |            |
|--|---|------------|
| 75   | 『宇宙サーガ SF 傑作選 目覚めるウロボロス』 ※仮題<br>Cosmic Powers | 創元 SF 文庫   |
| ジャック・キャンベル、ベッキー・チェンバーズ 他   | 中原 尚哉 他訳                                      | 2022 年 6 月 |
| <p>圧倒的な宇宙スケールで繰り広げられる、〈センス・オブ・ワンダー〉に満ち満ちた壮大な闘争の物語群。ジャック・キャンベル、ベッキー・チェンバーズら豪華執筆陣による傑作18編。</p> |   |            |

|  |                                    |                           |
|--|------------------------------------|---------------------------|
| 76   | 『 <b>ノーマンズ・ソサエティ</b> 』 ※ <b>仮題</b> | 四六判仮フランス装<br>(創元日本 SF 叢書) |
|  | 秋田 禎信 (あきた・よしのぶ)                   | 2022 年内                   |
| <p>記憶をリセットする技術が発達し、不都合があればすぐに以前の人格と記憶を捨て、新たな人間に生まれ変わることが常識となった、近未来の社会。なぜか何回リセットしても、お互いに関する記憶を夢で思い出ししてしまう少年《スコップ》と彼が恋する少女《小声》は、廃棄処置される直前、街の外から来た男・レールローダーの手引きで脱出する。しかし、ふたりに追っ手がかかる。なぜ、廃棄される子供にすぎないのに命を狙われるのか？彼らが見る夢の意味とは？《魔術士オーフェン》の著者が描く、SF長編。</p>   |                                    |                           |
| <p>著者紹介：1973年東京都生まれ。1991年、17歳で応募した『鬼の話』で第3回ファンタジア長編小説大賞に準入选。翌年に同作を改訂・改題した『ひとつ火の粉の雪の中』でデビュー。代表作〈魔術士オーフェン〉シリーズは、累計1400万部（電子含む）を超える大ヒットとなる。また、一般文芸、アニメノベライズ、ゲームの脚本などにも活動の場を広げている。他の著書に『カナスピカ』『機械の仮病』『ハンターダーク』『ハルコナ』『Your story with あなたとクルマの物語』がある。</p> |                                    |                           |

|  |  |          |
|--|--|----------|
| 77   | 『 <b>《星のパイロット》新シリーズ開幕編</b> 』 ※ <b>仮題</b> | 創元 SF 文庫 |
|  | 笹本 祐一 (ささもと・ゆういち)                        | 2022 年内  |
| <p>『星のパイロット』『彗星狩り』『ハイ・フロンティア』『ブルー・プラネット』に続き、次世代を主人公とした新シリーズを刊行。「本格的な宇宙時代が来た、その先」の物語になる予定です。</p>  |  |          |
| <p>著者紹介：1963年東京生まれ。宇宙作家クラブ会員。84年『妖精作戦』でデビュー。99年の『彗星狩り 星のパイロット2』と、2005年の『ARIEL』で星雲賞日本長編部門を、03年、04年、07年の『宇宙へのパスポート』3作すべてで星雲賞ノンフィクション部門を受賞。</p> |  |          |

|  |                            |            |
|--|----------------------------|------------|
| 78   | 『 <b>エンタングル：ガール</b> 』【文庫版】 | 創元 SF 文庫   |
|  | 高島 雄哉 (たかしま・ゆうや)           | 2022 年 4 月 |
| <p>舞浜南高校に進学した子は映研に入部し映画製作を始めた。だがこの高校は不可思議だった。いや、彼女が生まれ育ったはずのこの街も。新時代のハードSF作家が不朽のSFアニメーション『ゼーガペイン』を語り変える。</p>   |                            |            |
| <p>著者紹介：1977年山口県宇部市生まれ。徳山市（現・周南市）育ち。東京都杉並区在住。東京大学理学部物理学科卒、東京藝術大学美術学部芸術学科卒。2014年、第5回創元SF短編賞を「ランドスケープと夏の定理」で受賞（門田充宏「風牙」と同時受賞）、2018年に、これを長編化した初の著書『ランドスケープと夏の定理』を上梓。同書は新人作家の第一作ながら『SFが読みたい!』で国内編第5位となり、2019年の星雲賞日本長編部門の候補となるなど高い評価を得た。また、2016年の劇場用アニメーション『ゼーガペインADP』ではSF考証を担当、以降『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』『ブルバスター』など多くの作品に参加している。『アニメのSF考証家が描く未来のカタチ 21.5世紀 僕たちはどう生きるか?』は2020年第51回星雲賞ノンフィクション部門参考候補作に選出。</p> |                            |            |

|  |                  |                           |
|--|------------------|---------------------------|
| 79   | 『 <b>神々の歩法</b> 』 | 四六判仮フランス装<br>(創元日本 SF 叢書) |
|  | 宮澤 伊織 (みやざわ・いおり) | 2022 年春                   |
| <p>西暦2030年、砂に埋もれ廃墟と化した北京へ、米軍の戦争サイボーグ部隊の精鋭12名が突入した。神のごとき超人、エフゲニー・ウルマノフを倒すために——第6回創元SF短編賞受賞作から始まる連作集、書き下ろしを加えてついに刊行。</p>   |                  |                           |
| <p>著者紹介：秋田県生まれ。各種ゲーム開発・販売を中心とする制作プロダクション〈冒険企画局〉所属。2011年、『僕の魔剣が、うるさい件について』でデビューしたのち、15年に「神々の歩法」で第6回創元SF短編賞受賞。近作にアニメ化、コミカライズもされた《裏世界ピクニック》シリーズ、『そいねドリーマー』など。</p> |                  |                           |



|  |         |
|--|---------|
| 『Genesis 5』 ※仮題  | 四六判並製   |
| アンソロジー   | 2022 年夏 |
| 2018年12月、新しい書き下ろしSFアンソロジーシリーズとして産声を上げた《Genesis》。2022年版でも若手からベテランまで多彩な執筆陣が競演する。第13回創元SF短編賞受賞作を掲載予定。 |         |

## その他 Lineup for 2022 : Other Genres

|   |                          |         |
|---|--------------------------|---------|
| 81  | <b>『カシュニッツ幻想小説集』 ※仮題</b> | 四六判     |
|   | マリー・ルイーゼ・カシュニッツ          | 酒寄 進一 訳 |
|   | 2022 年内                  |         |
| <p>ある日部屋の中に巨大な鳥があらわれ、ドアを開けても出ていかず、知人に相談しようとしてもなぜか鳥のことは口に出せなくなる「怪鳥ロック」、旅行から帰ったら、自分が亡くなったという知らせを持って来た女の人が出たという話を隣人から聞く「六月半ばの真昼どき」、8歳の少女が見た夢がどんどん現実と区別がつかなくなっていく「ジェニファーの夢」、間違えて違う船に妹を乗せてしまった兄のもとに届き続ける、どんどん常軌を逸していく妹の手紙「船旅」。——日常生活に突然入り込んでくる奇妙な出来事。何気ない瞬間から頭の中を埋め尽くす途切れない妄想。日常と幻想を見事に融合させ、戦後ドイツ文学を代表するといわれる作家の粋を15作集めた傑作短編集！</p> |                          |         |
| <p>著者紹介：1901年、ドイツのカールスルーエ生まれ。詩人、小説家。考古学者の夫と長年ローマに滞在。1933年に小説『愛が始まる』で創作活動を開始。第二次世界大戦後、詩「フランクフルトへの帰還」を発表、詩人としての名声を得る。詩作のほか、ラジオ・ドラマの脚本や、エッセイ、小説はじめ多くの領域で活躍。55年にビュヒナー賞を、70年にヘーベル賞を受賞する。1974年没。</p>  |                          |         |

|  |                    |         |
|--|--------------------|---------|
| 82   | <b>『珈琲と煙草』 ※仮題</b> | 四六判上製   |
|  | フェルディナント・フォン・シーラッハ | 酒寄 進一 訳 |
|  | 2022 年夏～秋          |         |
| <p>ショートショート、自伝、エッセイなど48のパートで構成されている掌編集。著者の人生における大きな出来事や、奇妙な犯罪者のエピソード、『犯罪』『禁忌』など短編作品の関連エピソードが、小説と同じような研ぎ澄まされた筆致で語られる。文学や自作、生と死、美と人生をめぐる類まれな省察にして、現代ドイツを代表する作家が描く「罪」「人」そして「己」。『犯罪』のシーラッハの新境地。</p>                        |                    |         |
| <p>著者紹介：1964年ドイツ、ミュンヘン生まれ。ナチ党全国青少年最高指導者バルドゥール・フォン・シーラッハの孫。1994年からベルリンで刑事事件弁護士として活躍する。デビュー作である『犯罪』が本国でクライスト賞、日本で2012年本屋大賞「翻訳小説部門」第1位を受賞した。2010年に『罪悪』を、2011年に初長篇となる『コリーニ事件』、2013年に長篇第2作『禁忌』を刊行。その他の著作に『テロ』『刑罰』などがある。</p> |                    |         |

|   |  |                       |
|---|--|-----------------------|
| 83  | <b>『読書セラピスト』</b><br><b>La lettrice scomparsa</b> | 四六判上製<br>(海外文学セレクション) |
|   | ファビオ・スタッシ  | 橋本 勝雄 訳               |
|   | 発売中  |                       |
| <p>悩める人々に読むべき本を処方する読書セラピーを始めたヴィンチェ。彼のスタジオの階下に住む婦人が失踪、状況証拠から夫が疑われる。読書家の彼女が読んでいた本のリストからヴィンチェは手がかりを見つける……。彼女は夫に殺されたのか？ 失踪であるなら、どこに消えたのか？ 「失踪」「別の人生」「入れ替わり」といったテーマの小説を読んでいた彼女の真実は？ シニカルで文学的な本作はイタリアのミステリの賞・シェルバネンコ賞を受賞している。</p> |  |                       |
| <p>著者紹介：1962年ローマ生まれ。ヴィテルボ在住。ローマ大学サピエンツァ東方学図書館勤務。2007年に小説「悪ふざけ」で最優秀デビュー作に対するヴィットリーニ賞受賞。2008年にはチェスのチャンピオンの物語でパルミ賞と、スポーツ小説の賞コーニ賞受賞。2012年には4つの賞を受賞。</p>   |  |                       |

|   |  |                       |
|---|--|-----------------------|
| 84  | 『 <b>文明の物語</b> 』 ※ <b>仮題</b><br><b>Civilizations</b> | 四六判上製<br>(海外文学セレクション) |
| ローラン・ピネ   | 橋 明美 訳   | 2022 年冬               |
| <p>インカやアステカがあっけなく滅びたのは、鉄、馬、抗体を持たなかったからだと言われている（『銃・病原菌・鉄』（ジャレド・ダイヤモンド、草思社）。では、それらを彼らが持っていたら世界はどうなっていただろうか？ スペインがインカをではなく、インカがスペインを制服し、ヨーロッパ全体を変えたとしたら？ という架空の逆転世界を年代記として描いた小説。インカによって、16世紀のヨーロッパの実情をあぶり出す意欲的な試み。ピネ全開です。アカデミー・フランセーズ賞受賞作。</p> |  |                       |
| <p>著者紹介：『HHhH—ブラハ、1942年』でゴンクール新人賞受賞（本屋大賞翻訳部門第1位、ツイッター文学賞受賞）、『言語の第七番目の機能』（アンテラリエ賞受賞）に続く最新作。</p>  |  |                       |

|   |   |                       |
|---|---|-----------------------|
| 85  | 『 <b>編集者とタブレット</b> 』<br><b>La liseuse</b> | 四六判上製<br>(海外文学セレクション) |
| ポール・フルネル  | 高橋 啓 訳                                    | 2022 年 3 月            |
| <p>変わりつつある出版界。紙の本は消えるのか？ 読者は何を求めるのか？ 古きよき時代の編集者が直面する時代の荒波。原稿の束をかかえて帰る週末はもう終わった。タブレットにはいった原稿をもって家に帰るのだ。美味しいピストロで著者とランチをとりながらの打ち合わせももう終わりだ。ワインよりビールかコーラが好きなら若者中心。おまけに、行きつけのピストロが今どきのレストランに身売り!? 紙に埋もれるように生きてきた編集者ロバール・デュボワの当惑……。すべての読書人と出版人に捧げるシニカルな、しかし軽やかな傑作。</p> |   |                       |
| <p>著者紹介：1947年生まれのフランスの作家。ゴンクール短編賞、高校生が選ぶルノー賞等の受賞歴がある。ラムゼーやセゲルス等の出版社勤務を経て、文芸家クラブの理事長を勤め、その後、サンフランシスコのアリアン・フランセーズ（政府の傘下の海外にフランス語とフランス文化を広める機関）の校長、エジプトとイギリスの大使館のアタッシュェなどを歴任。現在は作家として活動。実験的な言葉の工房OULIPO（ペレックやルーボーなども所属）の会長も務めている。</p>                                |   |                       |

|   |   |         |
|---|---|---------|
| 86  | <b>The Lost Storyteller</b> ※ <b>原題</b> | 四六判     |
| アマンダ・ブロック   | 吉澤 康子 訳                                 | 2022 年内 |
| <p>レベッカは幼い頃に両親が離婚したため母親に育てられた。父のレオはかつて大人気子ども番組の主演俳優だったが、もう20年近く会っていない。そんなある日、取材目的でレオを探しているという男性記者から連絡があった。レベッカは有名人だった父の生死すら知らない現状に疑問を持ち、父が自分のために書いてくれたおとぎ話を手がかりに、行方を探そうとする。ダークで美しくもの悲しい、想像力をかき立てられる7つのおとぎ話を通して紡がれる、心あたまる父と娘の物語。</p> |   |         |
| <p>著者紹介：イングランド南西部デヴォン州出身。2008年にエジンバラへ出て、クリエイティブ・ライティングで修士号を取得した。以降は編集者やゴースト・ライターとして活動していた。本書がデビュー作。</p>   |   |         |

|  |                             |         |
|--|-----------------------------|---------|
| 87   | 『 <b>無垢なる花たちのためのユートピア</b> 』 | 四六判     |
| 川野 芽生（かわの・めぐみ）   |                             | 2022 年内 |
| <p>純粋無垢な少年たちとその指導者を乗せ、天空をゆく船。最も楽園に近いはずの船上で起きた悲劇と、明らかになる真実とは（「無垢なる花たちのためのユートピア」）。人間が人形へと変化してしまう病が流行った村で、ひとり人間のままの姿で救出された少女は、司祭のもとで手厚く看病される。しかし怪我が癒え、うつくしさを取り戻した少女は限りなく人形に近づいているようで……（「人形街」）。『Lilith』で現代歌人協会賞を受賞した注目の歌人による初の幻想文学作品集。</p> |                             |         |
| <p>著者紹介：1991年、神奈川県生まれ。東京大学大学院総合文化研究科在学中。2017年、「海神虜囚抄」（間際眠子名義）で第3回創元ファンタジー新人賞の最終候補に選出。18年、「Lilith」三十首で第29回歌壇賞を受賞したのち、20年に初の歌集『Lilith』を上梓。同書で21年、第65回現代歌人協会賞を受賞。</p>   |                             |         |

|  |  |           |
|--|--|-----------|
| 『旅書簡集 ゆきあってしあさって』  |  | 四六判仮フランス装 |
| 高山 羽根子（たかやま・はねこ）、酉島 伝法（とりしま・でんぼう）、倉田 タカシ（くらた・たかし）  |  | 発売中       |
| 三人の作家がそれぞれ架空の土地を旅してまわり、その場所の不思議な風習、できごと、食べたもの、出会った人々について、文章やスケッチ、写真を送りあう。27の幻想旅情リレー書簡。巻末エッセイ＝宮内悠介  |  |           |
| <p>著者紹介：●高山羽根子＝1975年富山県生まれ。多摩美術大学美術学部絵画学科卒。2010年、「うどん キツネつきの」で第1回創元SF短編賞佳作となる。14年、同作を標題とした短編集『うどん キツネつきの』（東京創元社）で書籍デビュー。同書は第36回日本SF大賞最終候補に選出された。16年、「太陽の側の島」で第2回林芙美子文学賞を受賞。19年「居た場所」で第160回芥川賞候補、「カム・ギャザー・ラウンド・ピープル」で第161回芥川賞候補。20年「首里の馬」で第163回芥川龍之介賞を受賞。</p> <p>●酉島伝法＝1970年大阪府生まれ。小説家、イラストレーター。2011年、「皆勤の徒」で第2回創元SF短編賞を受賞。13年刊行の第一作品集『皆勤の徒』は『SFが読みたい！ 2014年版』のベストSF2013国内篇で第1位となり、第34回日本SF大賞を受賞したほか、15年に〈本の雑誌が選ぶ21世紀のSFベスト100〉で第1位を獲得、『SFが読みたい！ 2020年版』の〈2010年代SFベスト〉でも第1位となった。18年3月には英訳版も刊行され話題となった。19年刊行の第一長編『宿借りの星』は第40回日本SF大賞を受賞した。</p> <p>●倉田タカシ＝1971年埼玉県生まれ。2010年、「夕暮にゆうくりなき声満ちて風」が『NOVA 2』に収録されてデビュー。13年に「わたしたちのこれからと、エアロック」が第4回創元SF短編賞の最終候補作となる。14年に第2回ハヤカワSFコンテストに投じた『母になる、石の礫（つぶて）で』は最終候補作となり、15年に長編単行本として刊行された。18年刊の『うなぎばか』で第1回細谷正充賞を受賞</p> |  |           |

|   |         |         |
|---|---------|---------|
| The Writing of the Gods: The Race to Decode the Rosetta Stone ※原題   |         | 四六判上製   |
| エドワード・ドルニック   | 杉田 七重 訳 | 2022 年内 |
| ナポレオンのエジプト遠征の折、1799年に発見されたロゼッタストーン。この石碑には、同じ内容と思われる文章が、二種類の言語で、三種類の文字を使用して刻まれていた。この解読に挑戦したのが、トマス・ヤングとジャン・フランソワ・シャンポリオンという二人の天才。どちらが先にヒエログリフを解読するか？ それはイギリスとフランス両国の、国の威信をかけた対決だった！ 知的興奮あふれるノンフィクション！ |         |         |
| 著者紹介：ボストン・グローブ紙の元チーフ・サイエンス・ライター。アトランティック・マンスリー、ニューヨーク・タイムズ・マガジンほか、多数の新聞・雑誌に寄稿している。邦訳書にエドガー賞を獲得した『ムンクを追い！『叫び』奪還に賭けたロンドン警視庁美術特捜班の100日』がある。  |         |         |